

2027年度（令和9年度）

公募制自己推薦（A O 型） 入学試験要項

令和8年7月22日 英語検定試験の利用可能スコアを訂正

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

文 学 部

神道文化学部

法 学 部

経 済 学 部

人間開発学部

観光まちづくり学部

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

大規模災害等、不測の事態により、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、大学ホームページにて随時公表いたしますので、出願にあたっては、必ず大学ホームページにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対しEメールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、こちら（大学ホームページ）からご確認ください。



目 次

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
2. 募集人員・出願資格等	9
3. 実施スケジュール	11
4. 受験から入学手続まで	12
5. 入学試験要項	14
6. 受験上の配慮について	37
7. 出願手続の流れ	38
8. 出願書類について	39
9. 入学検定料	44
10. 学費等納付金	44
11. 「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理について	45
12. 「こども性暴力防止法」施行に伴う教育実習の制限について	45
13. 入学前学習講座	46
14. 合格者対象オンラインイベントについて	46
15. Q & A（よくある質問）	47

【出願にあたっての注意事項】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課にご相談ください。
詳細につきましては、P.37をご参照ください。

【提出書類の確認について】

調査書・推薦書・証明書等については、記載内容の確認のため、大学から発行元の団体・機関等へ連絡をさせていただく場合があります。

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程(<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>)に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内の送付、本学 学校法人の國學院大學北海道短期大学部の案内書類送付 ※上記のほか、出願時に取得した情報（氏名、受験番号、生年月日、高等学校等コード、高等学校名、志願する入試制度、志望学部学科、調査書記載の学習成績の状況、検定・試験の成績）および入試成績情報を用いて、以下の分析等を行う場合があります。 (1) 高等学校・志望学部学科等、出願者の属性による入試成績状況の把握 (2) 入学後の成績や履修状況と照合・分析し、入試時の状況と入学後の学修状況との関連性を把握 (3) 卒業後の進路情報と照合・分析し、入試時の状況と進路状況の関連性を把握 (4) 入学手続時に取得する情報（入学手続の有無、入学辞退時の進学先）と照合・分析し、本学出願者の進学動向を把握
データ項目	(1) 入学志願票に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校（高等学校等・大学・短期大学（学士入学・編入学のみ））および卒業（見込）年月、志願する入試制度・学科（専攻）、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日
保管期間	10年間

國學院大學における個人情報の利用目的については下記の URL を参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

※アドミッション・ポリシー（以下、「AP」）については、大学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- ・自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- ・日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	○	○	○	レポートで本学科への志向性を、筆記試験で大学の学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
志望理由書		○	◎	
課題レポート			○	
活動レポート		○	○	
筆記試験	◎	◎		
面接試験	○		○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「文学国語」およびそれに相当する科目を履修していることが望まれます。

【中国文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本における中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・日本における中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を受け入れます。
志望理由書		○	◎	
活動レポート	○	○	○	
授業レポート	○	◎		
面接試験	○	○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「言語文化」「古典探究」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「歴史総合」および「世界史探究」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望めます。

【外国語文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- ・英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- ・日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			本学科に対する強い志向性を重視します。その上で、外国語・外国文化を学ぶのに必要な基礎学力を持つ生徒を受け入れます。
志望理由書		○	◎	
活動レポート	○	○	◎	
資格・検定試験の成績	◎			
面接試験	◎	◎	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」を身につけ、さらに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上の教科を学んでおくことが望めます。

以上に加えて、実用英語技能検定（英検）2級以上（CSE2.0：1,980以上）、TOEIC®L&R 500点以上を獲得できる英語能力を持つことが望めます。

【史学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- ・歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- ・歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			歴史・地理分野の研究に強い関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲的な者を受け入れます。
志望理由書		○	◎	
レポート		◎	○	
活動レポート			◎	
論述試験	○	◎		
面接試験		○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上を履修しておくことが望まれます。さらに、「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

【哲学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ・哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- ・文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を強く持つ者を受け入れます。
レポート	○	◎	○	
活動レポート		○	○	
自己推薦書		○	◎	
課題図書に基づく小論文試験	○	◎		
面接試験		○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」「英語 コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を身につけ、さらに「倫理」「公共」「政治経済」「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」およびそれに相当する教科の一つ以上履修していることが望まれます。

神道文化学部

【神道文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

國學院大學神道文化学部は、神道を中心とする日本文化への高い関心と、国内外の宗教文化を広く学ぼうとする意欲とを持ち、宗教・文化の継承者として、人々の共存や社会の発展に寄与しようとする人材を受け入れます。

具体的には、次のような意欲・意志を持って、学びの成果を社会に活かそうとしている人材を求めています。

- (1) 神道の歴史・思想を学ぶ意欲を持つ者
- (2) 神道の社会的実践・社会貢献について学ぶ意欲を持つ者
- (3) 日本の伝統文化を深く学ぶ意欲を持つ者
- (4) 世界の宗教文化を広く学ぶ意欲を持つ者
- (5) 神社や神道系宗教団体の後継者として専門的な学びを志す者
- (6) 現代社会の文化と宗教との関係について広く学ぶ意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

人材受け入れのため、次の観点から受験生を選考します。

- (AP1) 神道を中心とする日本文化や国内外の宗教文化（以下「神道文化・宗教文化」）に関わる授業を履修するために必要となる高等学校卒業相当の知識と文章表現のための技能を身につけているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 他者の考えを的確に理解し、自らの考えを理論的かつ簡潔にまとめ、ことばで正確に表現できる能力を有しているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 神道文化・宗教文化を幅広く学ぼうとする意欲を持っているか。また、神道文化・宗教文化の学びの成果を活かして、社会への貢献を目指す意志を持っているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法		AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
1次選考	調査書	◎	○	○	神道文化学部での学修に必要な総合的な学力を持つ受験生を選考します。 志望理由書・面接試験等では、主に神道文化・宗教文化を学ぶ態度を問います。 筆記試験では、主に神道・宗教に関する文章の読解・思考力・表現力のための技能を問います。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	◎	
	英語検定試験	◎			
	筆記試験	○	◎		
2次選考	面接試験		○	◎	

◎入学までに身に付けるべき教科・科目

神道文化学部に入学者となる学生には、入学後の教育内容との関係上、「国語」「地理歴史」「公民」「外国語（英語）」の学習を求めます。

法学部

【法律学科】

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため本学部は、本学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、本学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

法律専攻では、とくに次のような人材を求めています。

・法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者

法律専門職専攻では、とくに次のような人材を求めています。

・法律の専門的知識を活かす職業に就くことを目指しており、それに必要な基礎学力を持つ者

政治専攻では、とくに次のような人材を求めています。

・政治に関心を有し、将来政治に関する職業に就くことを目指す者、または、「よき市民」として政治に積極的に関わる意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

- (AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備える者〈知識・技能〉
- (AP2) 社会的な事象に対して問題意識を持ち、情報を収集・整理・分析し、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持つ者〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 教科外の活動に取り組み、その中でコミュニケーション能力などを培ってきた者〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

【法律専攻・政治専攻】

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書			○	法学、政治学に強い関心を持ち、その勉強に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲がある者を選考します。
エントリーシート		○	○	
小論文試験		○		
面接試験		○	○	

【法律専門職専攻】

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書			○	法学に強い関心を持ち、その学修に積極的・自発的に取り組む意欲があり、かつ、法律の専門的知識を活かす職業に就くことを目指す者を選考します。
エントリーシート		○	○	
小論文試験		○		
面接試験		○	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学後の教育内容との関係で、本学部の入学者には、入学までに、「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」、基礎的な「数学」、基礎的な「理科」の学習を求めます。

経済学部

◎求める人材、期待される入学者像

経済学部は、経済と経営に関する教育を主軸に、主体的に人生を切り拓き、自ら選んだ分野で社会に貢献できる人材を育成します。このことを踏まえて本学部では、次の能力・資質・態度に優れた者を受け入れます。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 「英語」「国語」「数学」「地理歴史」「公民」を中心に、経済学部で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を備える者。〈知識・技能〉
- (AP2) 各自の問題関心に基づき、情報を収集・分析し、論理的に考え、自らの主張について根拠を示しながら表現できる力を持つ者。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 他者と積極的に交流し、新しい知識や経験に対して主体的に学修する強い意欲を持つ者。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎			本学部・学科のAPを理解し、高校在学中に本学部・学科での学修に結びつく問題領域に強い関心を育み、かつ、APに示された基礎学力を高校在学中に習得し、本学部・学科での学修後の自らの社会人像を明確に持っている者を受け入れます。
エントリーシート		○	○	
活動レポート			○	
総合問題試験	○	◎		
面接試験		○	○	

- (AP1) 知識・技能
- (AP2) 思考力・判断力・表現力
- (AP3) 主体性・意欲・志向性

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「外国語」「政治・経済」「歴史総合」「地理総合」「数学」

【経済学科】

経済学科は、日本と世界の経済に関心と学修意欲を持ち、将来、企業や公務員を含むさまざまな分野で個性豊かに活躍することを目標とする、以下のような人材を求めています。

- ・経済理論を真摯に学び、仮説を立て、データを駆使して経済問題を分析したい者。
- ・数学的思考力を経済学の学修に生かし、向上させたい者。
- ・歴史的なアプローチにより、現代の経済問題を把握し、また分析したい者。
- ・現地調査の能力を高めて、地域経済の実態を分析し、より良いあり方を提示したい者。
- ・日本経済の発展要因と課題を理解し、将来に向けた政策を考察したい者。
- ・グローバルな視点で日本や地域の経済を意識しながら、世界経済の現状と課題を考察したい者。

【経営学科】

経営学科は、企業の経営・会計に関心と学修意欲を持ち、市場・組織・戦略に関する学習・研究を通じて、以下のような能力を磨き、将来社会で活躍できる人材を求めています。

- ・実践力と経営スキルを磨いて、企業などの組織の中で、ビジネスリーダーとして活躍したい者。
- ・創造力と課題解決力を磨いて、新たなビジネスに挑戦する企業経営者、起業家、事業承継者などとして活躍したい者。
- ・分析力と論理的思考力を磨いて、会計士、税理士、コンサルタントなどとして、あるいは金融にかかわる業務で活躍したい者。

人間開発学部

人間開発学部では、自らの資質・能力の向上と人間力育成を求めるとともに、教育者・指導者に強い志向性を有することが求められます。そのための基礎学力を持ち、自ら学ぼうとする学習意欲を保持し、十分なコミュニケーション力を有してそれをより高めようとする学生を受け入れます。

心身の発達に関する教養を総合的に身につけていくため、幅広い分野に関心を持って学んできており、さらに、今後の学生生活・卒業後の進路について展望を持っている学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

【初等教育学科】

初等教育学科では、日本の教育への関心と理解があり、教育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識や技能の修得を目指して、「教育の専門家」を志す意欲の高い学生を受け入れます。

【健康体育学科】

健康体育学科では、身体運動や身体諸機能への関心と理解があり、健康の維持増進のあり方と多様なスポーツに関する専門的な知識や技能の修得を目指して、様々なライフステージでの健康・体育分野への寄与を志す意欲の高い学生を受け入れます。

【子ども支援学科】

子ども支援学科では、幼児教育・保育への関心と理解があり、幼児教育・保育の諸領域における現代的課題に応じた専門的な知識や技能の修得を目指して、「子どもの育ちと子育てを支援する専門家」を志す意欲の高い学生を受け入れます。

◎入学者選考の観点

(AP 1) 知識・技能

(AP 2) 思考力・判断力・表現力

(AP 3) 主体性・意欲・志向性

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
エントリーシート		○	○	「人間開発」に強い関心を持ち、本学部・学科への志向性が高い者を求めています。 レポート、小論文、面接試験、口頭試問（子ども支援学科のみ）による試験を行います。
活動計画書			○	
活動報告書・添付資料	○		○	
レポート	◎	◎	○	
小論文試験	◎	◎	○	
面接試験		○	◎	
口頭試問 (子ども支援学科のみ)	○	◎	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

教師や指導者になるためには、幅広い分野に関心を持って学ぶ姿勢が必要です。そのための基本的な能力は言語力であり、「国語」や「外国語」の修得はもちろんのこと、「数学」や「理科」など得意な教科・科目があればさらに望ましいです。

日常生活の中において学習する習慣をつけていることが大切であり、本学部で学修する上で、高校での修学以外に、次にあげるいずれかの能力検定試験相当の学力をもつことが望まれます。

- ・日本漢字能力検定：準2級以上
- ・日本語検定：3級以上
- ・実用英語技能検定：準2級以上
- ・歴史能力検定（世界史または日本史）：3級以上
- ・実用数学技能検定：準2級以上
- ・理検STEP：2級以上など、高校中級以上のレベル

観光まちづくり学部

【観光まちづくり学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・観光・交流を通じた持続可能な地域の形成や振興に関する学問的な基礎を学びたいという意欲がある者。
- ・上記の学問的な基礎をもとに、地域社会の再生、活性化及びまちづくりに貢献したいという意欲がある者。
- ・既存分野の壁を越えて能動的に学ぶ向上心を保持し、積極的に地域に働きかけようという意欲がある者。

◎入学者選考の観点

(AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備えているか。

〈知識・技能〉

(AP2) 地域社会やその持続可能性に対して問題意識を持ち、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉

(AP3) 自身の興味・関心にしがたい、主体的に活動に取り組み、またはその成果について第三者からの評価を得ているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
調査書	◎		○	観光まちづくり学部での学修に必要な能力・資質と意欲を持つ受験生を、第1次選考（調査書、志望理由書、活動レポート、地域分析レポート、解決策提案シートに基づく書類選考）、第2次選考（解決策提案シートの説明及び第1次選考提出書類に基づく質疑）の2段階で総合的に選考します。
志望理由書		◎	○	
活動レポート		○	◎	
地域分析レポート	◎	◎		
解決策提案シート	○	◎		
面接試験		◎	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「国語」「数学」「外国語（「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」）」を中心とした基礎学力を前提に、「地理歴史」「公民」「理科」「情報」の中から幅広く学習していること。

2. 募集人員・出願資格等

(1) 募集人員

学部	学科	専攻	募集人員※1
文学部	日本文学科		21名
	中国文学科		8名
	外国語文化学科		21名
	史学科		24名
	哲学科		12名
神道文化学部	神道文化学科		19名
法学部	法律学科	法律専攻	30名
		法律専門職専攻	5名
		政治専攻	3名
経済学部	経済学科		23名
	経営学科		23名
人間開発学部	初等教育学科		16名
	健康体育学科		18名
	子ども支援学科		12名
観光まちづくり	観光まちづくり		49名

※1 出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回ることがあります。

(2) 出願資格

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者、および令和9年3月卒業見込みの者。
- ② 高等専門学校の3年次を修了した者、および令和9年3月修了見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および令和9年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の課程を修了した者、および令和9年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、またその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、および令和9年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑥ 文部科学大臣が指定した者。
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定試験に合格した者を含む）、および令和9年3月31日までに合格見込みの者で令和9年3月31日までに18歳に達する者。
- ⑧ 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者。

※出願に際し、資格等で不明な点がある場合は、必ず入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

確認には時間を要するため、出願締切日までに出席資格の確認ができなかった場合は、出願を認めないことがあります。

(3) 併願について

- ・ 本制度は他大学や試験日の異なる他の試験制度との併願が可能です。
- ・ 本試験制度内における複数学科・専攻への出願は、すべての学部・学科で可能です。ただし、書類選考を除くすべての選考において、同一試験日での複数学科・専攻の受験はできません。
- ・ 出願書類は志望学科・専攻それぞれに作成し、提出する必要があります。
- ・ 入学検定料は1学科・専攻につき35,000円で併願に伴う減免はありません。

(4) そ の 他

高等学校等での学習成績の状況は、出願要件としません。
各学部学科によって出願要件は異なります。出願資格と出願要件をよく読んでから出願してください。

(5) 入学検定料

35,000円

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

3. 実施スケジュール

出願期間（全学部共通）

令和8年9月28日（月）～10月2日（金）（消印有効）

※出願開始日の10：00より出願が可能です。

第1次選考

学部	試験日	集合場所	合格発表日
神道文化学部	10月18日（日）	渋谷キャンパス	10月23日（金） ※12：00公開
法学部			
経済学部			
文学部	（書類選考のみ）		
人間開発学部			
観光まちづくり学部			

第2次選考（第1次選考合格者）

学部	試験日	集合場所	合格発表日
文学部	11月15日（日）	渋谷キャンパス	11月25日（水） ※12：00公開
神道文化学部			
法学部			
経済学部			
人間開発学部			
観光まちづくり学部		横浜たまプラーザ キャンパス	

入学手続期間

令和8年11月25日（水）～12月2日（水）（消印有効）

※集合時刻・試験内容は学部学科のページを参照のこと。

※出願手続きの流れについては、P.38をご確認ください。

4. 受験から入学手続まで

(1) 受験に関する諸注意

①開門時刻	集合時刻30分前 ※ 試験教室には集合時刻（試験開始 30分前）までに入室してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。
②受 験 票	・受験票は出願時に利用したWeb出願システムのマイページより各自で印刷してください。受験票は10月13日（火）10時に公開予定です。当該日以降になっても受験票の確認ができない場合や記載内容に誤りがある場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。受験票確認・印刷のフローは以下の通りです。 ①Web出願システムのマイページにログイン ②[オンライン受験票] ボタンをクリック ③該当受験票の[受験票の印刷] ボタンをクリック ④各自保存・印刷 ・本学のシステムでは、一部の異体字（高・崎・凜・遥・熙など）が対象外となるため、受験票・合格通知等に表記できない場合があります。表記できない漢字については、字体の異なる同字で置き換えられるか、カタカナで表記されますのでご了承ください。 ・試験当日は必ず<u>受験票を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。
③遅 刻	<u>遅刻は一切認めません</u>。指定された集合時刻に間に合わない場合、試験を受けることはできません。なお、事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。
④試験時間中の注意事項	・<u>時計は必ず持参してください</u>。ただし、辞書・電卓・計算・通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、学習タイマー、大型のものは使用できません。また、試験時間中は携帯電話など電子機器類の電源を必ず切ってください。 ・試験時間中に机の上に置けるものは、「筆記具（HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可）」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）」「メガネ」です。これら以外の所持品を使用または置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。 ・「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型通信端末」「ICレコーダー」「スマートグラス」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。 ・受験者は試験時間中に以下の物を使用することができます（ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります）。「座布団」「ひざかけ」「ティッシュペーパー」「目薬・点鼻薬」「シャープペンシルの替え芯」「ハンカチ・ハンドタオル」「マスク」 ※ 「ティッシュペーパー」は袋から、「シャープペンシルの替え芯」はケースから、中身のみを取り出したもののみ使用を認めます。 ※ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。 ・英語や地図、和歌や格言等が印字されている服の着用や所持品の使用はできません。 ・試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・試験監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。

⑤感染症に関する注意事項	試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。 また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。 ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。
⑥その他	・文学部（外国語文化学科を除く）・人間開発学部の第2次選考は終日となるため、昼食を持参してください。 ・上履きを持参する必要はありません。 ・試験教室の下見はできません。 ・試験会場へは公共の交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。 ・大規模災害等、不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。これらの対応措置を講ずる場合は、大学ホームページに掲載しますので、確認してください。（www.kokugakuin.ac.jp/admission）

(2) 評価方法について

出願書類ならびに各学科が指定する選考方法を用いて、アドミッション・ポリシーに基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素を多面的・総合的に評価します。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能
- ② 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

(3) 合格発表について

第1次合格発表・最終合格発表とも、出願時に利用したWeb出願システムのマイページ内「合否結果」にて合格発表日の12:00に公開されます。

電話による合否の問い合わせには一切応じません。

(4) 入学手続について

入学手続もWeb出願システムのマイページから行います。

マイページの「入学手続」から、入学手続をする入試・学科の「入学手続へ」のボタンをクリックし、手続を行ってください。

大学から入学手続書類・合格通知書等の送付はいたしません。入学手続画面の「入学手続きの手引」に掲載している「入学手続ガイダンス」「入学手続要項」の内容をよく確認し、手続を進めてください。

なお、「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締め切り日を過ぎての入学手続は一切認めません。

5. 入学試験要項

《 文 学 部 》【1】日本文学科

(1) 募集人員

21名

(2) 出願要件

本学文学部日本文学科で学びたいという強い意欲を持ち、次の項目のいずれかについて関心を強く持つこと。

志望コード	志 望 項 目
C31	日本古典文学の学修・研究
C32	日本近現代文学の学修・研究
C33	日本語（古代語・現代語・方言など）の学修・研究
C34	伝承文学（民俗学、口承文芸、祭礼・芸能など）の学修・研究
C35	書道に関する学修・研究

(3) 選考方法

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

【第1次選考】書類選考

① 課題レポート【様式1】(2,000字程度)

自身が選んだ志望項目（志望コードC31～C35）に即して具体的な研究テーマを考え、それについて自身が調査したことや考えたことを詳しく論述し、指定の用紙に記述しなさい。用紙の「表題」の欄には、下の【例】を参考にして自身が考えたレポート題目を記し、最後にある「注」の欄には、レポート執筆に際して参考にした文献や資料（webページも含む）の名称を、著者名・出版社名・URL等とともに明記しなさい。なお志望動機や入学後の抱負などは志望理由書に記し、課題レポートには記入しないこと。

【例】『源氏物語』の自然描写について」「谷崎潤一郎『細雪』の研究」「『今昔物語集』の敬語」「岩手県三陸地方の神楽について」など。

② 志望理由書【様式2】(1,000字程度)

國學院大學の日本文学科に入学して、何を、どのように学びたいと考えているのか、どの専攻に進み、どのようなジャンル（時代・作品・作家など）を研究し、どのようなテーマで卒業論文を書きたいと考えているのか、できるだけ具体的に詳しく記述しなさい。また、あなたがこれまで学校の授業以外に、「文学」とどう関わってきたか、これからどう関わっていきたいと考えているのかを、合わせて記述しなさい。

③ 活動レポート【様式3】(800字以内)

レポートのみを提出し、参考資料などは添付しないでください。

【第2次選考】 集合時刻：9:30 試験開始時刻：10:00

① 筆記試験（古文を読んだの論述、全体で1,000字程度、90分）

以下の3種の古語辞典のうち、紙に印刷された辞書を1冊のみ当日持ち込み可とします（ただし、書名に「全訳」とあるものは不可）。電子辞書は不可。

『旺文社 古語辞典（別冊を除く）』（旺文社）、『ベネッセ古語辞典』（ベネッセ）、『新明解 古語辞典』（三省堂）

② 面接試験（約20分）

自身が日本文学科で学びたいという目的意識や意欲・志向性がどれほど明確であるかということを、古典に関する知識や関心も含めて確認する。また、自身が書いた課題レポートの内容についても詳しく質問する。

※第2次選考は終日となるため、昼食を用意すること。

文学部 日本文学科 「選考のポイント」

【第1次選考】

いずれの書類も、箇条書きは認めません。全体がひとつながりの文章になるよう、構成を考えて書いてください。改行によって生じた余白は、文字数に含めません。

各書類における選考のポイントは以下の通りです。

①課題レポート

- ・研究テーマが明確かつ具体的であるほど評価が高くなります。
- ・レポートのテーマ・題目は、自身が選んだ志望項目（志望コードC31～C35）の研究分野に一致するような内容を考えてください。
- ・学科への志望動機や抱負などは、課題レポートではなく、志望理由書に書いてください。

②志望理由書

- ・あなたがどういう人間で、あなたのどういうところが國學院という大学に向いているのか、という点を「自己推薦」するものです。
- ・日本文学科での「学び」に対する意欲を記述してください。学科の「学び」に直接関わらないこと（部活動やスポーツなど）を書いてはいけません。「学び」以外の自己アピールは、「活動レポート」に記載してください。
- ・國學院大學の特色は、図書館の蔵書が多い、教員になる卒業生が多いといった表面的なことだけではありません。これまで國學院大學が取り組んできた多様な「研究」の歴史を調べ、その特色をできるだけ理解した上で、より深い志望理由を考えてみてください。

【第2次選考】

①筆記試験

これから日本文学科で学んでいくために必要な、総合的な知的能力があるかを測る論述試験です。文章を読んで類推し想像する力と、自然な日本語の表現能力を重視します。

②面接試験

- ・第1次選考で提出された各書類の内容に基づいて、日本文学科での「学び」に対する意欲の強さを確認します。課題レポートの内容についても具体的に質問をします。さらに、日本語学・日本文学・伝承文学・書道への関心の高さや、高等学校卒業までに身につけているはずの国語の常識についても確認します。
- ・同時に、あなたが本当に日本文学科に合っているかという適性も確認します。適性というのは、何よりも読書が好きか、本当に文学が好きか、といったことです。
- ・面接では、その場で考えて答える自然な対話を高く評価します。無理に自分をアピールする必要はありません。ぜひ自然体で臨んでください。

【2】中国文学科

(1) 募集人員

8名

(2) 出願要件

本学文学部中国文学科で学びたいという意欲を持ち、中国・中国文学・中国文化などに強い興味・関心を持つこと。

志望コード	志 望 項 目
C61	中国古典の学修・研究
C62	中国近現代文学の学修・研究
C63	中国文化の学修・研究
C64	教職を目指しての専門分野の学修・研究

【社会人受験資格および第1次選考の免除】

上記の出願要件を満たし、かつ令和9年4月1日現在、満22歳以上である者は、本人の申請に基づいて、第1次選考を免除する。

就業経験は問わない。

※免除申請者は、履歴書【様式7】を必ず提出してください。

(3) 選考方法

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

【第1次選考】書類選考

① 志望理由書【様式2】(900～1,000字)

本学科を志望する理由について、入学後の取り組みの方針と、すでに取り組んでいる学び(出願要件のC61～C64から選択した項目と関連づける)を含めて、具体的に記述する。

② 活動レポート【様式3】(800字以内)

令和6年4月以降、自身が主体的に取り組んだ活動について具体的に記述すること。

③ 履歴書(社会人に対する第1次選考免除申請者のみ)【様式7】

【第2次選考】集合時刻：9:30 試験開始時刻：10:00

① 授業の受講とレポート作成(120分)

授業(50分)を受け、授業内容に関するレポート(1,000字程度、70分)を作成する。

② 面接試験(約20分)

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

※第2次選考は終日となるため、昼食を用意すること。

文学部 中国文学科 「選考のポイント」

中国文学科のアドミッション・ポリシー（以下「AP」）に基づき、志向性や意欲を中心に選考しますので、学びへの関心と中国文学科への理解がその前提となります。APおよび4プログラム制・セメスター留学など、中国文学科の教育内容の特色について、事前に大学ホームページ・入学案内・オープンキャンパスなどで確認してください。

選考の視点は以下の通りです。

【第1次選考】

①志望理由書

中国文学科への志向性を確認します。中国への関心・探究心をもったきっかけや、主体的に取り組んでいる学びについて記すとともに、中国文学科の特色をふまえ、その取り組みを入学後の学びにどうつなげるかを記してください。

②活動レポート

令和6年4月以降の生活を振り返り、自身が主体的に取り組んだ活動について、具体的に800字以内で記してください。

【第2次選考】

①授業の受講とレポート作成

授業内容の要点を把握してまとめられているか、そこからさらに自分の考えを展開できているかが評価のポイントになります。要約や意見を、正しく論理的に表現する練習をすると良いでしょう。

②面接試験

中国文学科への理解や志向性・意欲を確認します。志望理由や現時点・入学後の学びについて説明できるとともに、質問に対して自分の言葉でしっかり答えられるかが求められます。

【3】外国語文化学科

(1) 募集人員

21名

(2) 出願要件

本学文学部外国語文化学科で学びたいという意欲を持ち、次の項目のいずれかについて志望（複数可）を強く持つこと。

- ① 2外国語（英語および独・仏・中国語のいずれか）についての学修・研究
- ② 外国語によるコミュニケーションや言語文化についての学修・研究
- ③ 英語・独語・仏語・中国語圏の文化についての学修・研究
- ④ 外国語による日本文化の発信活動

かつ、英語検定試験CEFR B1以上のスコア（P.41～42参照）を持つこと。

(3) 選考方法

※「出願書類について」
（P.39～43）を必ず
熟読してください。

【第1次選考】書類選考

- ① 志望理由書【様式2】（900～1,000字）
- ② 活動レポート【様式3】
 - (1) 自身が主体的に取り組んだ活動について
 - (2) 外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）の資格検定試験に関する取り組みについて

【様式3】を2枚印刷し、(1)と(2)それぞれ別の用紙に200～800字で述べること。
- ③ 英語検定試験CEFR B1以上のスコア証明書【様式A】

令和6年4月1日以降に取得したものに限り、提出してください。複数の試験でB1以上のスコアを有している場合は、複数提出しても構いません。P.39～43も併せて確認してください。
- ④ ドイツ語・フランス語・中国語の検定試験合格証明書【様式A】

令和6年4月1日以降に取得したものに限り、提出可能な合格証明書がある場合は、【様式A】裏面に貼付し、提出してください。

添付した証明書の名称は、すべて【様式3】の添付資料目録に記載すること。
活動レポート(1)の内容（主体的に取り組んだ活動）に対応する資料は添付不要です。目録にも記載する必要はありません。
※①②③の提出は全員必須、④は該当者のみ提出。

【第2次選考】集合時刻：第1次選考合格発表時に通知 面接試験（約20分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う（英語による質疑応答を含む）。

文学部 外国語文化学科「選考のポイント」

【第1次選考】

第1次選考では、外国語文化学科で学ぶ強い意志があるか、入学後の学修に十分対応できる英語能力があるかどうかを確認します。

①志望理由書

単に学ぶ意志があることを示すだけではなく、その意志を持ったきっかけや理由等についても説明してください。また、入学後は何を学びたいか、大学での学びを将来の進路にどうつなげるか、現時点で考えられることを具体的に述べてください。

②活動レポート

令和6年4月以降の生活を振り返り、以下2点についてそれぞれ200～800字で記述してください。

(1)自身が主体的に取り組んだ活動について

(2)外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）の資格・検定試験に関する取り組みについて

(1)には学業以外の活動を中心に記入してください。

(2)では、普段の外国語学習についても言及して構いません。

③英語検定試験CEFR B1以上のスコア証明書

英語検定試験のスコアは、審査の対象として重視されます。証明書を必ず添付してください。CEFRのB1以上であれば出願できますが、より高いスコアが望まれます。

【第2次選考】

第2次選考は面接試験です。面接試験には、英語による質疑応答が含まれています。自己紹介や入学後の学修計画、アピールしたいポイントなどを整理し、それらを日本語と英語で論理的かつわかりやすく説明できるよう、よく練習しておきましょう。ただし、準備してきた内容にばかり気をとられて質問をとり違えたりしないよう、落ち着いて臨むことも重要です。

【4】史 学 科

(1) 募集人員

24名

(2) 出 願 要 件

本学文学部史学科で学びたいという意欲を持ち、次の項目のいずれかについて志望（複数可）を強く持つこと。

- ① 日本史学に関する学修・研究
- ② 外国史学（東洋史・西洋史）に関する学修・研究
- ③ 考古学に関する学修・研究
- ④ 地域文化と景観に関する学修・研究

かつ、英語検定試験CEFR A2以上のスコア（P.41～42参照）を持つこと。

【社会人受験資格および出願書類】

上記の出願要件を満たし、かつ令和9年4月1日現在、満22歳以上である者は、本人の申請に基づいて、以下の出願書類のうち③活動レポートの提出を免除する。就業経験等は問わない。

(3) 選 考 方 法

※「出願書類について」
（P.39～43）を必ず
熟読してください。

【第1次選考】 書類選考

① レポート【様式1】（2,000字程度）

史学科の各専攻分野（出願要件の①～④）のいずれかに関する主題を選び、調査・学習した内容を記述する。冒頭に表題をつけ、所定欄に調査に当たって参照した文献・史資料を必ず記入すること。

② 志望理由書【様式2】（1,000字程度）

史学科の各専攻分野（出願要件①～④）のうちの何を、どのように学びたいかをできるだけ具体的に詳しく述べること。また史学科で学びたいテーマについて、これまで自主的に学んできた事柄に言及すること。

③ 活動レポート【様式3】（800字以内）

高等学校在学中に、主体的に参加、経験した以下の各項に当てはまる事柄を挙げ、それらの活動を通じて学んだこと、身についたことを簡潔に述べること。

- a) 自主的な学習・探究活動
- b) 自主的な学習・探究活動の成果としての資格・検定試験の結果、表彰、報告発表など
- c) 高等学校での部活動、課外活動、学校行事など
- d) 学校外でのボランティア活動、社会貢献活動
- e) 海外留学
- f) その他

*上の活動に関わる資格証明書、表彰状、報告書等の資料の提出は不要。

④ 英語検定試験CEFR A2以上のスコア証明書【様式A】

【様式A】裏面に貼付して提出してください（P.41～42参照）。

⑤ 履歴書【様式7】（社会人受験生のみ）

【第2次選考】 集合時刻：9:30 試験開始時刻：10:00

① 論述試験（全体で1,000字程度の論述、90分）

英文、古文、漢文の文章題から1つを選び、与えられた課題について論述する。文章の内容を理解するとともに、その理解をもとに、自身の見解を論理的に述べることを求められる。さらに、出願時に作成したレポートに関する論述を課す。

② 面接試験（約20分）

大学での学修に対する目的意識、修学意欲などについて面接を行う。

※第2次選考は終日となるため、昼食を用意すること。

文学部 史学科「選考のポイント」

【第1次選考】

①レポート

(1)主題の設定は適切か

レポートは読後感想文ではなく、調査研究した事柄を論証し、何らかの結論を得るものです。まず、歴史学、考古学、地域文化と景観に関して、探究に値する主題を選ぶことが重要です。そのためには、その主題に関する研究文献、調査報告書、史資料等を入手・読解している、あるいは自身で発掘調査等に参加しているなど、主題に関する実体的な根拠があることが前提です。

(2)構成は適切か

レポートの構成の基本は、主題を明示する「序論」、調査内容を論述する「本論」、論述の結果得られた主題に関する「結論」の3部構成です。段落設定を適切におこない、必要に応じて番号を振って議論を整理するなど、論点がわかりやすく整理されていることも選考のポイントです。

(3)論述のしかたは適切か

主題について、根拠を示したうえで合理的な説明をおこなってください。根拠のない空論や個人的見解に終始しないことが重要です。根拠に基づく公正な判断力があるか、それをだれもが納得できる論理をもとに、適切な日本語で表現できているかを評価します。

(4)根拠を示しているか

過去におきた事柄をレポートにまとめるときには、想像ではなく、確実な根拠を示して論述することが必須です。したがって、根拠として参照した文献、史資料、調査報告書等を、正しく列挙してください。根拠資料の提示がない場合、個人的な想像と区別がつかず、レポートとして評価できません。

②志望理由書

入学後、出願要件①～④の分野のうちの何を、どのように学びたいかを、具体的に記載してください。その主題に関してこれまで自主的に調査研究や学習をした経験がある場合は、それにも触れ、史学科を志望する理由を明確に述べてください。

③活動レポート

高等学校の学習以外で、学校の内外で自主的な活動をおこなった事柄を記載してください。a)～e)に挙げた活動以外でも構いません。その活動を通して、身についたことを述べてください。なお、活動の成果を証明する表彰状、新聞記事等の添付資料は不要です。

【第2次選考】

①論述試験

出題された英文・古文・漢文をしっかりと読みこなし、内容を要約し、そのうえで、その内容について、自分の見解や意見を論述します。出題文の内容が理解できなければ、自分の見解を書くことができませんので、英文・古文・漢文の読解力をつけておくことが必須です。さらに、要約する力、見解を明快に書く力、日本語表現力を磨く訓練も必要です。また、出願にあたって提出したレポートについても200字程度での説明を求めます。

②面接試験

史学科への志望動機、入学後の学生生活の抱負などを問います。史学科で何を、どのように学びたいかを明確に述べるようにしてください。

【5】哲 学 科

(1) 募 集 人 員

12名

(2) 出 願 要 件

本学文学部哲学科で学びたいという意欲を持ち、次の項目のいずれかについて志望（複数可）を強く持つ者。

- ①西洋古代・近代・現代の哲学、倫理学の学修・研究
- ②東洋哲学（日本哲学、インド哲学、中国哲学など）の学修・研究
- ③応用倫理学（生命倫理、環境倫理など）の学修・研究
- ④宗教思想の学修・研究
- ⑤西洋古代・近代・現代の美学、芸術哲学の学修・研究
- ⑥西洋・東洋・日本美術史、美術思想の学修・研究
- ⑦芸術学（映像論、音楽論、舞踏論、建築論など）の学修・研究

(3) 選 考 方 法

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

【第1次選考】書類選考

① レポート【様式1】（800字程度）

【論 題】

哲学・倫理学・美学・芸術学・美術史をテーマとする、もしくは、それらと関連する内容を含む、書籍1冊ないし美術作品・映像作品等1点を取り上げ、それについて紹介し、どのようなテーマ・内容に深く関心を持ったのか、またその理由を示すこと。なお、書籍の場合は第2次選考の課題図書とは異なるものを選び、書籍名・取り上げた作品名等を表題の欄に記入すること。

② 自己推薦書【様式2】（900～1,000字）

これまでの学習意欲と関連づけて、本学科入学後に学びたいことについて示すこと。

③ 活動レポート【様式3】（800字以内）

令和6年4月以降、自身が主体的に取り組んだ活動について具体的に記述すること。

【第2次選考】 集合時刻：9:30 試験開始時刻：10:00

① 小論文試験（1,000字程度、90分）

あらかじめ次の課題図書を読んでいることを前提とした試験を行う。課題図書は、試験当日持ち込み可とする。なお、図書に書き込みをすること、頁を折り曲げることは可とするが、別紙を持ち込むこと、付箋を貼ることは認められない。

【課題図書】

吉岡洋 著『AIを美学するーなぜ人工知能は「不気味」なのか』（平凡社新書、2025）

② 面接試験（約20分）

大学での学問・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

※第2次選考は終日となるため、昼食を用意すること。

文学部 哲学科「選考のポイント」

【第1次選考】

①「レポート」

次の3点を特に重視します。

(1)書籍や作品について、論点を絞ってしっかりとまとめられているか

取り上げる書籍や作品の内容すべてを網羅する必要はありません。自分がとりわけ関心を持った箇所を明確に示し、正確にまとめられているかを見ます。

(2)自分なりの意見の形成ができているか

参考書等からとってきたような考えではなく、あなたが何を理解し、どのように考えたかを書いてください。ポイントは結論に至る思考過程であり、導き出された意見が正しいかどうかではありません。

(3)正しい日本語で、論理的に書けているか

論述は、興味や関心の異なる他人に自分の考えを理解してもらうためにあります。自分の考えの理由・根拠を示し、正しい日本語で、分かりやすく思考過程を説明してください。

②自己推薦書

なぜあなたが哲学科で学ぶ必要があるのかを、これまでの学習意欲と関連づけて述べるものです。高校での活動記録に終始せず、そうした活動や日々の思索を通じて、自分がなぜ哲学あるいは美学を学ぼうと考えたか、具体的に何をどのように学び、どのような方向性で自分の考えを深めていきたいかを書いてください。

【第2次選考】

①小論文試験

課題図書の内容をふまえた論述問題が課されます。ただし、この試験は、問いの正解のようなものを課題図書の中から探す作業ではありません。第1次選考の「レポート」でのポイントに加えて、提示されている課題が「いかなる問い」を扱ったものであるかを正確に把握しているかどうかを見ます。

たとえば、過去に以下のような課題が出ています。

過去の例) プラトン著・藤沢令夫訳『メノン』(岩波文庫)

問 『メノン』の冒頭において、メノンはソクラテスに対して、徳は人に教えられて学ぶことのできるものであるか、それとも教えられて学ぶことはできずに訓練によって身につけられるものであるか、それともまた、学んでも訓練しても得られるものではなく生まれつきの素質によるものか、さらにまた、そのいずれでもない仕方によるものなのか、と問うている。あなたは『メノン』を読んで、「学び」の本質についてどのように考えたかを述べよ。(1,000字程度)

上記の例であれば、「徳は人に教えられて学ぶことのできるものであるか」や、「学ぶこととはどのようなことか」といった根本問題を、まずは理解していることが必要です。そうした前提をふまえずに、たとえばプラトンの思想などについて詳細に説明できても意味はありません。課題で言及されている人物や事柄について知っていることは有益ですが、たとえ何も知らなくとも、問われている課題について深い思考ができなければなりません。そのためには、課題図書をただ読むだけでなく、そこに出てくる用語などを調べ、理解を深めておくことが必要です。

②面接試験

哲学科への志望理由や、入学後の学生生活への抱負などを、明確に説明することが求められます。また、哲学・美学におけるトピックに関する問題についてどう思うか、いくつか問われる時があります。その場合も、とくに固有名詞などに詳しくある必要はなく、問題の所在を把握しているかどうかと、そこから論理的に自分なりの意見形成ができているかどうかが問われます。朗らかかどうかといった、一般的な面接試験で求められる外向的な要素はあまり重視しません。

《 神道文化学部 》 神道文化学科

(1) 募集人員

19名

(2) 出願要件

本学神道文化学部神道文化学科で学びたいという意欲を持ち、次の項目のいずれかについて志望を強く持つこと。

志望コード	志 望 項 目
C 41	古代の神道史・神社の学修・研究
C 42	近世・近代の神道思想や制度の学修・研究
C 43	祭式・神社実務の学修・研究
C 44	宗教・宗教文化の学修・研究
C 45	比較宗教文化・国際化の学修・研究
C 46	現代社会と宗教、宗教理論の学修・研究

かつ、英語検定試験でのスコア（令和6年4月以降に取得したもの）を持つ者。※スコアレベル不問、ただしスコアはCEFRレベルに对照可能なものに限る（P.41～42参照）。

(3) 選考方法

[第1次選考]

① 筆記試験（60分）

神道と宗教に関する総合問題を出題する。

試験日：令和8年10月18日（日）

試験会場：渋谷キャンパス

集合時刻：9：30 試験開始時刻：10：00

② 志望理由書（900字～1,000字）【様式2】

「出願要件」にある志望項目を選択し、その事項を表題に記入すること。

③ 活動レポート（資料添付は任意）【様式3】（800字以内）

令和6年4月以降、自身が主体的に取り組んだ活動について具体的に記述すること。

④ 履歴書【様式7】（社会人受験生のみ）

⑤ 英語外部試験のスコア証明書【様式A】

⑥ 調査書

[第2次選考] 集合時刻：第1次選考合格発表時に通知

面接試験（約20分）

大学での学修・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

神道文化学部 「選考のポイント」

出願要件6項目のいずれかについて強い関心を持ち、それへの学修・研究意欲に富み、かつ神道文化学部を選ぶ明確な理由のある人物を募集します。特に学修・研究への志向性を重視します。

【第1次選考】

筆記試験

筆記試験では、神道・宗教に関する知識や読解・思考力・表現力を問います。課題図書の内容を理解できるまで、何度もよく読んでください。参考図書もよく読んで、神道・宗教に関する理解を深めてください。

なお、課題図書は、自分の興味がある箇所だけでなく、指定された範囲全体を熟読してください。

《課題図書》

- ・ 國學院大學神道文化学部編『プレステップ神道学〈第2版〉』（弘文堂、2023）（範囲：第4章～第9章）
- ・ 石井研士著『プレステップ宗教学〈第3版〉』（弘文堂、2020）（範囲：第1章～第12章）

《参考図書》

- ・ 國學院大學日本文化研究所編『神道事典（縮刷版）』（弘文堂、1999）
- ・ 岡田莊司・小林宣彦編『日本神道史（増補新版）』（吉川弘文館、2021）

【第2次選考】

面接試験

出願要件の6項目から選択した志望項目に基づき大学で学修や研究したい内容について具体的に質問します。関連する図書などを読み、はっきりした口調で明確に答えられるようにしましょう。なお、毎年、コミック本・SF本等によりイメージ化された神主・巫女等に興味をもって受験する方がいますが、課題図書以外に専門的な図書を1冊も読まず、漠然とした知識を持つだけでは適格者とは認められませんので、注意してください。神道文化学部で学修・研究するにふさわしい人物であることをアピールしてください。

実践的神職養成特別コースについて

神道文化学部では、卒業後に神社の神職として社会貢献を果たすことを志望する、神社実習生などの学生のため、「実践的神職養成特別コース」を設けます。このコースを受講する学生は、夜間時間帯に開講された必修科目と、特別クラスの神社祭祀演習（祭式授業。一部）および3・4年次の基幹演習（ゼミ）を履修することで、志望を実現するための学びがしやすい環境を整えることができます。

申込の機会は、入学前と2年次進級前の2度あります。申込方法は、合格後ないし入学後、所定の条件を満たした対象者に案内します。

《 法 学 部 》【1】法律学科法律専攻

(1) 募集人員

30名

(2) 出願要件

法律学・政治学に強い関心を持ち、その勉学に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲があること。なお、高等学校での学習成績の状況（旧評定平均値）などの学業成績は、出願要件としない。

(3) 選考方法

[第1次選考]

小論文試験（120分）

法・政治に関連するテーマを題材とする1,000字程度の小論文試験を行う。文献等の持込・披見は許可しない。

試験日：令和8年10月18日（日）

試験会場：渋谷キャンパス

集合時刻：9：30 試験開始時刻：10：00

[第2次選考] 集合時刻：第1次選考合格発表時に通知

面接試験（20分程度）

自己アピール（5～10分）および質疑応答とで構成される20分程度の面接試験を行う。

自己アピールでは、國學院大學法学部法律学科法律専攻で学ぶ意欲・熱意・適性を口頭でアピールする。自己アピールにあたり、フリップやレジュメ等の紙媒体を持参して使用することができる。また、ノートパソコンやタブレット端末等の電子機器を持参して使用することはできるが、電子機器本体および投影用のプロジェクター・スクリーン等の機器ならびに電源の貸出はできない。

質疑応答は、自己アピールおよび「エントリーシート」（【様式5－法】）に記述した「社会への関心」に関連するものが中心となる。ただし、小論文試験についての質疑応答はしない。

法学部 法律学科法律専攻「選考のポイント」

【第1次選考】

小論文試験

小論文試験では、試験問題で提示されたテーマについて、与えられた資料等に基づき、1,000字程度の文章を作成することに挑みます。小論文試験の試験時間は120分間ですが、60分程度を使って資料等を読み込んだうえで、残りの時間で文章を書き上げることが求められます。小論文の記述内容を通して、(1)与えられた資料等を正確に読めるか、(2)資料等から情報を適切に収集し整理・分類のうえ的確に分析できるか、(3)分析結果に基づいて自分の意見を論理的・説得的に主張できるか、を評価します。また、(4)小論文の作成にあたっては、一定の誘導が付されますが、小論文の文章構成がこの誘導に従っているか、も問われます。

【第2次選考】

面接試験

面接試験は、出願時に提出の「エントリーシート」を資料の1つとして行います。そこで、エントリーシートには、本学法学部法律学科法律専攻を志望した理由や自己推薦の理由、社会への関心について、限られたスペースに要領よくまとめ、読み手に的確に伝わるよう記述しておきましょう。

自己アピールは、エントリーシートに記述した法律専攻の志望理由（概ね、エントリーシートの「志望理由について」に対応します）や自己推薦の理由（概ね、エントリーシートの「あなた自身のことについて」に対応します）を、敷衍して口頭で説明するものです。5分以上10分以内と限られた時間のなかで、要領よく、しかし説得力のあるアピールをすることが肝要です。

ここでアピールすべきことは、法律専攻で学ぶことに対するあなたの意欲・熱意と、あなたが評価して欲しいと考えるあなた自身の強みです。この点、國學院大學の校風―それは通常、面接を担当する側の方がよく知っています―を延々と述べるだけでは、評価が高くなるとは限りません。また、あなた自身の強みは、それが法律専攻で学ぶことに対する意欲・熱意とどのように関連しているのか、よく吟味してください。

アピールの方法を工夫することも大事です。ノートパソコン、タブレット端末、フリップ等の使用は、うまくいけば、より効果的なアピールにつながりますが、必ずしもこれらを使用する必要があるとは限りません。まずは自分のアピールしたい内容をしっかりと決め、それとのバランスを考えて適切な方法を選ぶとよいでしょう。

質疑応答は、とくに自己アピールの内容や、「エントリーシート」に記述した「社会への関心」に関連する事柄を中心に行います。主に質疑応答を通して、いわゆるコミュニケーション能力を評価します。そこで、自己アピールを第三者に聴いてもらい、どのような質問がされるか、質問にどう答えるか、練習しておくといよいでしょう。また、「社会への関心」で記述した事柄については、それについて関心をもった理由、調べた事柄、あなたの現在の意見等について、よく整理しておきましょう。「社会への関心」について記述した事柄については、エントリーシートの提出後に変化・変容する場合があります。それに対応できるよう、エントリーシートの提出後も情報を収集し、必要に応じて自分の意見を見直しましょう。なお、面接試験では、小論文試験についての質疑応答はいたしません（緊張を解きほぐすため、小論文試験の感想を求めるようなケースがあるかもしれませんが、それに対する回答内容は、評価の対象外です）。

【2】法律学科法律専門職専攻

(1) 募集人員	5名
(2) 出願要件	法律学・政治学に強い関心を持ち、その勉学に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲があること。 <u>なお、高等学校での学習成績の状況（旧評定平均値）などの学業成績は、出願要件としない。</u>
(3) 選考方法	【第1次選考】 小論文試験（90分） 法律に関連する実用的な文章等を素材とした問題と、あらかじめ指定されたオンライン授業動画を視聴し学習してきたことを前提とした問題とで構成される試験を行う。 試験日：令和8年10月18日（日） 試験会場：渋谷キャンパス 集合時刻：9：30 試験開始時刻：10：00 オンライン授業動画 https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6 【第2次選考】 集合時刻：第1次選考合格発表時に通知 面接試験（20分程度） 出願時に提出するエントリーシート（【様式5―法】）の記述内容等を参考にしつつ、法律専門職専攻で学修することおよび卒業後に法律の専門的知識を活かす職業に就くことに対する意欲・志向性等に関する質問等が行われ、これに口頭で回答する。なお、面接に際し、原則として、書類その他の物を参照しながら回答することはできない。



法学部 法律学科法律専門職専攻「選考のポイント」

【第1次選考】

小論文試験

小論文試験では、大別すれば、法律に関連する実用的な文章等を試験時間中に読んで答える問題と、指定された法学に関するオンライン授業動画を視聴し学習してきたことを前提として一定の形式に従った論述に取り組む問題が出題されます。この試験では、特に前者の問題で、実用的な文章等に関する基礎的な読解力、情報の整理・分析能力、論理的思考力を、また、特に後者の問題で、一定の形式に従って自分の意見を表現することのできる力を測ります。

【第2次選考】

面接試験

面接試験では、本学法学部法律学科法律専門職専攻で学修することおよび卒業後に法律の専門的知識を活かす職業に就くことに対する意欲・志向性や、これらを裏付けるコミュニケーション能力等に関する適性を測ります。

面接試験では、エントリーシートの記述内容等を参考にしつつ、質問等が寄せられます。このため、エントリーシートに、あらかじめ、法律専門職専攻を志願する理由（特に、卒業後にどのような法律の専門的知識を活かす職業に就きたいと考えているのか）、あなた自身の自己推薦の理由、あなたが最も関心を有する社会的出来事について、限られたスペースに要領よくまとめ、読み手に的確に伝わるよう記述しておきましょう。

【3】法律学科政治専攻

(1) 募集人員	3名
(2) 出願要件	法律学・政治学に強い関心を持ち、その勉学に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲があること。なお、 <u>高等学校での学習成績の状況（旧評定平均値）などの学業成績は、出願要件としない。</u>
(3) 選考方法	[第1次選考] 小論文試験（120分） 事前に文献等を指定し、その文献等を読んでいることを前提とした小論文試験（文献事前指定型小論文試験）を行う。下の【指定文献】のみ試験時間中の持込・披見を許可する（指定文献への書き込みの有無は問わない。ただし、電子書籍の持込・披見は許可しない）。指定文献に付箋を貼付することは認めるが、付箋に書き込みをすることは許可しない。 【指定文献】 宇野重規『政治とは何か』（講談社現代新書、2026年） 試験日：令和8年10月18日（日） 試験会場：渋谷キャンパス 集合時刻：9：30 試験開始時刻：10：00 [第2次選考] 集合時刻：第1次選考合格発表時に通知 面接試験（20分程度） 自己アピール（5～10分）および質疑応答とで構成される20分程度の面接試験を行う。 自己アピールでは、國學院大學法学部法律学科政治専攻で学ぶ意欲・熱意・適性を口頭でアピールする。自己アピールにあたり、フリップやレジュメ等の紙媒体を持参して使用することができる。また、ノートパソコンやタブレット端末等の電子機器を持参して使用することができるが、電子機器本体および投影用のプロジェクター・スクリーン等の機器ならびに電源の貸出はできない。 質疑応答は、自己アピールおよび「エントリーシート」（【様式5-法】）に記述した「社会への関心」に関連するものが中心となる。ただし、指定文献に関連する質疑応答がされる場合がある。

法学部 法律学科政治専攻「選考のポイント」

【第1次選考】

小論文試験

小論文試験（文献事前指定型小論文試験）では、事前に指定された文献等を読み込んでいることを前提として、一定の分量の文章を作成すること等に挑みます。小論文の記述内容を通して、情報の収集・整理・分析能力や論理的思考力、表現力等を評価します。

指定文献は試験時間中に持込・披見することができ、指定文献への書き込みの有無は問いません。そこで、最初に、指定文献全体を貫く大きなテーマを把握したうえで、目次や見出し等を頼りに指定文献の文章の全体構造を捉えておきましょう。そのうえで、いわば筆者と対話しながら指定文献の論旨を追うといでしょう。自分の考え・意見を形成するのは、こうした準備作業に取り組んでからおこなひましょう。

【第2次選考】

面接試験

面接試験は、出願時に提出の「エントリーシート」を資料の1つとして行ひます。そこで、エントリーシートには、本学法学部法律学科政治専攻を志望した理由や自己推薦の理由、社会への関心について、限られたスペースに要領よくまとめ、読み手に的確に伝わるよう記述しておきましょう。

自己アピールは、エントリーシートに記述した政治専攻の志望理由（概ね、エントリーシートの「志望理由について」に対応します）や自己推薦の理由（概ね、エントリーシートの「あなた自身のことについて」に対応します）を、敷衍して口頭で説明するものです。5分以上10分以内と限られた時間のなかで、要領よく、しかし説得力のあるアピールをすることが肝要です。

ここでアピールすべきことは、政治専攻で学ぶことに対するあなたの意欲・熱意と、あなたが評価して欲しいと考えるあなた自身の強みです。この点、國學院大學の校風―それは通常、面接を担当する側の方がよく知っています―を延々と述べるだけでは、評価が高くなるとは限りません。また、あなた自身の強みは、それが政治専攻で学ぶことに対する意欲・熱意とどのように関連しているのか、よく吟味してください。

アピールの方法を工夫することも大事です。ノートパソコン、タブレット端末、フリップ等の使用は、うまくいけば、より効果的なアピールにつながりますが、必ずしもこれらを使用する必要があるとは限りません。まずは自分のアピールしたい内容をしっかりと決め、それとのバランスを考えて適切な方法を選ぶとよいでしょう。

質疑応答は、とくに自己アピールの内容や、「エントリーシート」に記述した「社会への関心」に関連する事柄を中心に行ひます。主に質疑応答を通して、いわゆるコミュニケーション能力を評価します。そこで、自己アピールを第三者に聴いてもらひ、どのような質問がされるか、質問にどう答えるか、練習しておくといよいでしょう。また、「社会への関心」で記述した事柄については、それについて関心をもった理由、調べた事柄、あなたの現在の意見等について、よく整理しておきましょう。「社会への関心」について記述した事柄については、エントリーシートの提出後に変化・変容する場合があります。それに対応できるよう、エントリーシートの提出後も情報を収集し、必要に応じて自分の意見を見直しましょう。質疑応答は、指定文献に関連してされる場合があります（例えば、筆者が最も伝えたいと考えた事柄は何か、それについてあなたはどうか考えるか、等）。そこで、第1次選考終了後も、指定文献を適宜読み返しておきましょう。

《 経 済 学 部 》 【1】 経済学科 【2】 経営学科

(1) 募集人員

学 科	募集人員
経済学科	23名
経営学科	23名

(2) 出 願 要 件

公募制自己推薦（AO型）のアドミッション・ポリシーの内容を十分に理解したうえで、以下の [1] [2] [3] の要件を必ず満たすこと。

[1] 高校での学習や生活の中で、経済や経営の現状や歴史に関する研究・授業・諸活動の経験を踏まえた明確な問題意識を持っている者。

[2] 自らの卒業後の具体的な将来像を持ち、その将来を実現するために、なぜ経済学科・経営学科を選択し、そこで何を学ぼうとするのか明確である者。

[3] 以下のいずれかの資格・スコアを有する者。

① 英語検定試験 CEFR A2以上のスコア（P.41～42参照）。

② 日本数学検定協会主催の実用数学技能検定で2級以上。

③ 下記 a・b の両方

a 全商協会主催の簿記実務検定試験1級（会計および原価計算）

b 全商協会主催の英語検定試験2級以上

※ aの要件は、日本商工会議所主催の簿記検定試験2級以上もしくは全国経理教育協会主催の簿記能力検定1級以上に代替可とする。

【社会人受験資格】

本入学試験の出願資格・出願要件を満たす者のうち、令和9年4月1日時点で満22歳以上である者に対しては、社会人を対象とした選考を行う。就業経験は問わない。

なお、出願要件 [3] に示す資格・スコアは、出願前3年以内（令和5（2023）年10月1日以降）に取得したものを有効とする。

対象者には、第1次選考において、社会人用のエントリーシートの提出を課す。その他の選考方法は、P.32（3）「選考方法」に示す内容と同一とする。

また、対象者には、履歴書【様式7】の提出を求める。

[社会人受験資格を希望する方のみ]

出願要件 [3] に示す資格・スコアで令和5（2023）年度に取得した「実用英語技能検定」もしくは「TEAP」~~「TEAP CBT」~~の成績を利用する方は出願時に以下の対応をしてください。

① Web出願システムの英語外部試験情報を入力する画面にて「受験年度」選択時に「2024」を選択する。

② ~~（TEAPまたはTEAP CBTのみ）~~ 受験番号の頭2桁を「24」に変更して入力する。

③ 入学志願票印刷後、「受験年度」および「受験番号（~~TEAPまたはTEAP CBTのみ）~~」に赤ボールペンで二重線を引き、正しい「受験年度」および「受験番号（~~TEAPまたはTEAP CBTのみ）~~」を記載してください。

(3) 選考方法

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

■選考方法

[第1次選考]

①総合問題試験（90分、全体で1,000～1,500字程度）

試験日：令和8年10月18日（日）

集合時刻：9:30 試験開始時刻：10:00

試験会場：渋谷キャンパス

②調査書

③エントリーシート【様式5－経済】

以下の7項目について、所定の書式にしたがって書いてください。

(1) 高校の授業の中で印象に残ったことについて書いてください。

(2) (1)以外に高校生活で身につけたアピールできること（資格・特技など）について書いてください。

(3) 本学を知ったきっかけを書いてください。

(4) 経済学部および選んだ学科を志望した理由を書いてください。

(5) 大学生活における目標と卒業後の進路について書いてください。

(6) (4)(5)を踏まえて残りの高校生活で何をすべきか考えたことを書いてください。

(7) 経済・経営に関して、あなたの関心のあるトピックを自分の見解を含めて、800字程度で記述してください。なお、参考文献、参考URLを1つ以上載せること。

※社会人の出願要件を満たす者は社会人用のエントリーシートを提出すること。

④活動レポート【様式3】

学内外問わず過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動を1つ選び、800字以内で記入してください。また、活動に関する資料があれば、任意で添付してください（添付方法はP.39を参照ください）。

⑤資格・スコアを証明する書類【様式A】

⑥履歴書【様式7】（社会人受験者のみ）

[第2次選考]

①面接試験（約20分）集合時間：第1次選考合格発表時に通知

エントリーシート（項目7の記述内容に関する発表を含む）、活動レポートに関する内容等について質問する。なお、発表に際して、資材等の持ち込みは認めない。

経済学部 「選考のポイント」

① アドミッション・ポリシーについて

経済学部アドミッション・ポリシー(P.5～6参照)をよくお読みください。学部のアドミッション・ポリシーは、入学にあたっての基本的に必要とされる能力、学科のアドミッション・ポリシーは、入学後に必要とされる興味・関心を示しています。志望する学科のアドミッション・ポリシーはすべてに当てはまる必要はなく、該当する関心や適性を掘り下げる姿勢が重要です。

② 総合問題試験

総合問題試験では、経済・経営現象に関する文章をその場で読解し、その文章に対する設問に解答する論述試験が行われます。本試験で測ろうとしている適性は主に以下の4点です。

1. 文章中の論理を正確に理解し読み解く能力
2. 数表やグラフなどの読解・解釈能力
3. 理解した内容を正確な文章で論述できる能力
4. 日常的な経済・経営現象への興味・関心

③ エントリーシート・面接試験について

面接試験はエントリーシートの内容に基づいて行われます。高校時代にどのようなことを学習し、関心を抱いてきたのか、大学でどのようなことを成し遂げたいのか、なぜ本学部の当該学科を志望するのか。エントリーシートの各項目は、ばらばらに論じるのではなく、それぞれがどのように関連しているのかを意識して記入してください。

エントリーシートは面接試験における問いかけの起点となるものですので、枠いっぱいに関心や適性を詳しく書くというよりも、ポイントを絞ってわかりやすく書くことを心がけてください。目安は各項目5行程度とするとよいでしょう。

(1) 募集人員

学 科	募集人員
初等教育学科	16名
健康体育学科	18名
子ども支援学科	12名

(2) 出 願 要 件

【初等教育学科】

本学人間開発学部初等教育学科で学びたいという意欲を強く持ち、自ら学ぼうとする学修意欲および日本の教育への関心と理解を有し、教育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識の修得を目指して「教育の専門家」として小学校教諭を志す意欲の高い者。

【健康体育学科】

本学人間開発学部健康体育学科で学びたいという意欲を強く持ち、「健やかな人生が人々の幸せにつながるという理念」や、「健康保持・増進のための重要な要素である身体運動」、「胎児から寿命を全うするまでの全期間に関わる身体諸機能のあり方」に関心があり、中・高等学校の保健体育教諭、健康やスポーツ分野のリーダーを目指す者。

【子ども支援学科】

本学人間開発学部子ども支援学科で学びたいという意欲を強く持ち、子ども・子育て支援への関心を有し、幼児教育・保育の領域に関する専門的な知識や技術を意欲的に学び、幼稚園教諭・保育士を志す者。

(3) 選 考 方 法

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

【第1次選考】 書類選考

① レポート（2,000字程度）【様式1】

人の育ちを支援するという観点から自らが目指す将来像について、考えをまとめて記述しなさい。必ず表題をつけること。

② 活動報告書および添付資料目録【様式4-1、様式4-2】

これまでに自らが行ってきた活動等で活躍や努力したものについて、その内容を記入すること（活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にすること）。

資格取得や検定試験合格、あるいはスポーツなどで顕著な成績を有している場合には、添付資料目録に記載し、必ず証明書等のコピーを添付すること。

添付資料目録は、添付資料がない場合でも、「添付資料の有無」欄の「無」に丸を付けて提出すること。

添付資料については、P.39を確認すること。

③ エントリーシート【様式5-人間開発】

④ 活動計画書（600字以内）【様式6】

本学入学後の活動計画について具体的に600字以内で記入すること。

【第2次選考】 集合時刻：9:00 試験開始時刻：9:30

① 小論文試験（90分、1,000字程度）

② 【初等教育学科・健康体育学科】面接試験（約15分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う。

【子ども支援学科】面接試験および口頭試問（約20分）

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接、および口頭試問（次のページを参照）を行う。

＜口頭試問の内容について＞

①大学が用意した絵本3冊の中から、1冊を選び黙読する。

②選んだ絵本等に関しての口頭試問を行う。

※絵本は、公益社団法人全国学校図書館協議会第28回（2016）「よい絵本」のリストから、大学が3冊選書する。

※第2次選考は終日となるため、昼食を用意すること。

人間開発学部 「選考のポイント」

「人間の能力開花、開拓」に関心があり、「幼稚園教諭・保育士、小学校教諭、中学校・高等学校の保健体育教諭、あるいは健康やスポーツ分野のリーダーになりたい」という強い意欲を持つ人を求めます。

「人間開発」という言葉には、さまざまなストレスやプレッシャーなどにより閉じられたままになっている能力や才能を「弾ける」「拓く」「拡がる」ように引き出し、「開花させる」という意味が込められています。それゆえ生徒や指導の対象となる人の「頑張ることを応援する教育」に向けて積極的に勉強する人の意欲を評価します。

上記を踏まえ、レポート課題に関連したことを調べ、卒業後の進路を含め、自分の考えをまとめておく必要があります。

【第1次選考】

レポートの作成にあたっては、次の点に留意してください。

- a. 広く書物や文献などを利用して関連する内容について調べること
- b. 論理的な筋道を立てた内容とすること
- c. 読む人にわかりやすく伝わる文章にすること
- d. 自分の経験や考えも含めること
- e. 利用した資料は、書名や著者、発行年月日などがわかるように出典を明確に記載すること

【第2次選考】

①小論文試験（全学科共通）

上記のレポートに関する留意点bとcに準じた解答をすることが望ましいです。

②面接試験（全学科共通）

学部・学科に対する志向性および学生生活、卒業後の進路について、今後の展望を持っていることが望ましいです。

③口頭試問（子ども支援学科）

口頭試問では、絵本の読み聞かせは行いません。大学で用意した絵本の中から受験生が1冊を選びます。その絵本を通して子どもたちに伝えたいことを、これまでの絵本の経験に基づいて回答できることが望ましいです。

(1) 募集人員	49名
(2) 出願要件	観光・交流、まちづくりに興味・関心を持ち、持続可能な地域社会の実現に向けて、勉学に主体的に取り組み、かつ、他者と協働して積極的に学ぶ意欲があること。
(3) 選考方法	【第1次選考】 書類選考 ① 地域分析レポート（1,200字以内）【様式1】 あなたが住んでいる地域やゆかりのある地域を選び、その地域の資源（文化、生活様式、景観、自然、生きもの、産業、伝統行事、イベント、教育、コミュニティ等）を挙げ、そうした資源がどのような魅力および価値を持っているかについて、根拠を示しながら簡潔に記述すること。また、選んだ地域や資源が今後も持続可能であり続けるためには、どのような課題があるかについて、根拠を示しながら簡潔に記述すること。 なお、この地域分析レポートに20字以内のタイトルを付け、キーワードを3つ示し、主要な参考文献を最大5件まで明示すること（参考文献欄に記入すること）。ただし、タイトル・キーワード・参考文献の部分は本文1,200字に含めないものとする。 ② 解決策提案シート（A3サイズ用紙・片面・1枚） 地域分析レポートを踏まえて自ら解決策を構想し、A3サイズ用紙1枚を用いて分かりやすく表現すること。表現形式は問わないが、半分（A4サイズ）に折りたたんで出願すること。なお、この解決策提案シートに20字以内のタイトルを付けること。自作も含めて図表や写真等を使用してもよい。引用する場合は出典を明らかにすること。余白に氏名を記入すること。 ③ 志望理由書（1,000字以内）【様式2】 志望理由、自分自身、地域への興味・関心の3つの視点から簡潔に記述すること。 ④ 活動レポート・添付資料目録（800字以内）【様式3】 自分自身の課題研究、探究活動、部活動、学校行事、生徒会・委員会、ボランティア活動、各種コンクール、習い事、留学・海外経験、資格・検定取得に向けた活動、その他の学びや社会経験等の一つ以上について、20字程度のタイトルを付け簡潔に記述すること。なお、上記活動を証明できる書類等の添付を認める。 ①・②・③・④の書類はすべて原本を送付し、コピーを手元に残しておくこと。 【第2次選考】 集合時刻：第1次選考合格発表時に通知 面接試験（約20分） コピーした解決策提案シートを提示しながら、その内容について5分で説明すること（解決策提案シート以外のものは用いないこと）。その後、解決策提案シート、地域分析レポート、志望理由書、活動レポート、調査書に基づく質疑を行う。

※「出願書類について」
(P.39～43)を必ず
熟読してください。

観光まちづくり学部 「選考のポイント」

【第1次選考】

① 地域分析レポート

対象地域を選んだ理由や、その地域と自分自身との関係性を明示することがまず大切です。例示した資源に限らず、地域の資源をどのように捉えているか、および、そうした資源が持つ魅力と価値について、具体的な資料や参考文献を挙げながら明確に指摘できることが大切です。また、選んだ地域や資源の持続可能性にどのような問題意識を持っているか、そうした問題意識を背景に、地域の課題をどのように認識しているか、多面的にかつ深く検討できているか、根拠を示しながら論理的に指摘できているかも重視します。

さらに、20字以内のタイトルから、全体を俯瞰する力、要点を適切に捉える力、切り取る力も評価します。また、参考文献を過不足なく明示できる客観性と、学びの足跡も評価の対象とします。

② 解決策提案シート

提案した解決策について、A3サイズ用紙（片面）1枚という限られた条件の中で、どのように表現したかが評価の重要なポイントになります。表現形式は問いませんので、論理的で独創性に富んだ提案を求めます。

また、20字以内のタイトルで、全体を俯瞰する力、要点を適切に捉える力、切り取る力も評価します。なお、出典を明らかにしつつ客観的に引用できる力、さらには、図表や写真等を自作し情報を分かりやすく表現する力も評価の対象になります。

③ 志望理由書

何のために本学部に入學し、どのように学ぼうと思っているのか、また、社会に出てどのように活躍したいと思っているのかをまず記してください。さらに、自分自身をしっかりと分析し、優れていると思うところをアピールしてください。あなたが住んでいる地域やゆかりのある地域に対して、どのように興味を持ち、どのような関心を抱いているか、また、もしあればそうした地域とどのように関わってきたかを記してください。

④ 活動レポート

自分自身の学びの経験について、一つでも複数でもよいので、主体的に学び経験してきたことを中心に、設定したタイトルに沿って記してください。なお、活動を証明できる書類等の添付も可能です。

【第2次選考】

面接試験では、解決策提案シートの内容を限られた時間で、論理的かつ独創的にアピールできる表現力を評価の主な対象とします。その上で、提出した書類を基に質疑を行い、的確に回答できるかも評価の対象となります。

6. 受験上の配慮について

身体等の障がいや病気・負傷により受験配慮を希望する者に対して、申請内容に基づき審査の上、症状や状態等に応じた受験上の配慮を行います。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

また、許可された内容については入学後の配慮を確約するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

申請期限を過ぎての申請は受け付けることができませんので、必ず期間内に申請をお願いいたします。ただし、申請期限後に不慮の事故や急な発病により受験上の配慮が必要になった場合に限り、速やかに本学入学課までお問い合わせください。

【受験上の配慮事例】

区分	配慮事項
視覚障がい	点字文字冊子・解答用紙の配付/拡大問題冊子・解答用紙の配付/試験時間の延長/リーディングルーラーの使用/定規の使用（文章を読む際の補助具として）/拡大鏡の使用
聴覚障がい	注意事項等の文書による伝達/座席を前列に指定/補聴器または人工内耳の装用/開始と終了の合図/面接試験での文字化
肢体不自由	チェック解答/試験時間の延長/1階またはエレベーターが利用可能な試験室で受験/車椅子、杖の持参使用/多目的トイレの使用
病弱	別室受験/試験教室入口までの付添者の同伴/座席配慮/デジタル耳栓（通信機能なし）の使用/保護者が待機
発達障がい	別室受験/試験時間の延長/拡大問題冊子・解答用紙の配付/チェック解答/試験中の自己マッサージ/試験中のストレッチ
その他	薬の服用・インスリンポンプの使用・喘息用の小型吸入器の使用、またそれらの机上常備/イヤーマフの使用/耳栓の使用

※別室受験については、原則個室ではありません。

※申請方法：必要事項を大学ホームページ「受験上の配慮申請について（令和9年度入学試験受験者用）」より入力し、出願の30日前までに、入学課へ申請してください。

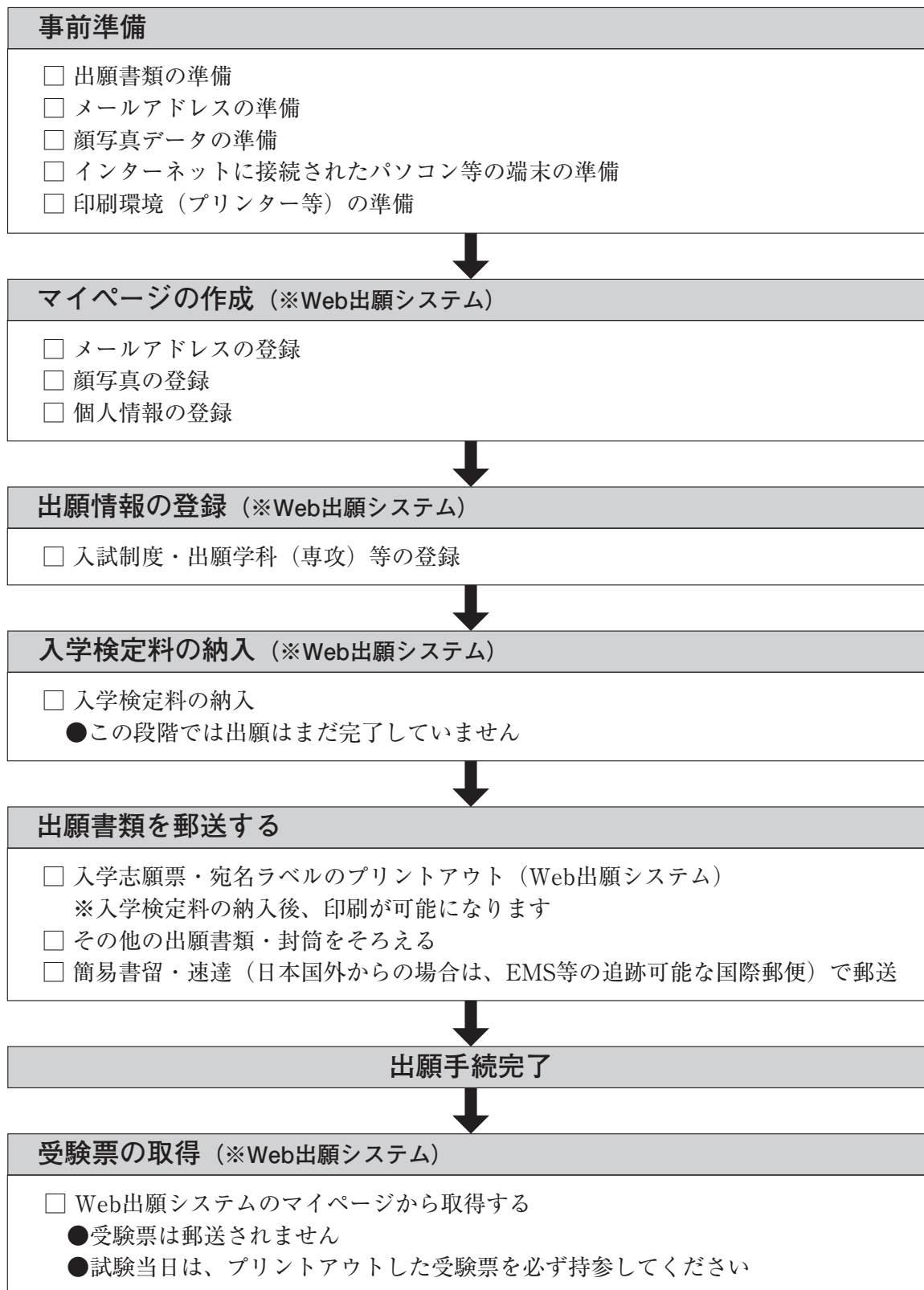
<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6>



申請方法
(大学ホームページ)

7. 出願手続の流れ

<受験票取得までの流れ>



※Web出願システム

詳細は下記大学ホームページよりご確認ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/q5>

8. 出願書類について

- (1) 出願に必要な書類をすべてそろえ、Web出願システムにてプリントアウトした本学所定の出願封筒用宛名ラベルを使用し、速達・簡易書留で入学課宛に送付してください。
- (2) 提出書類は順番に重ねて提出してください（ホチキスで留める必要はありません）。記入の際は、ペンまたはボールペンを使用してください（鉛筆書き不可）。
- (3) すべての書類は出願者本人が作成してください。
- (4) 一度提出した書類および入学検定料は、返還しませんので、ご注意ください。

<提出書類様式および一覧>

学部	学科・専攻	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	—	⑧	⑨	⑩	⑪
		入学 志願票	各種 証明書	様式A 資格・スコアを 証明する書類	様式1 レポート	様式2 志望理由書 自己推薦書	様式3 活動レポート・ 添付資料目録	様式4 活動報告書・ 添付資料目録	添付資料	様式5 エントリー シート	様式6 活動 計画書	解決策 提案シート	様式7 履歴書
文	日本文	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	中国文	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	☆
	外国語文化	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×
	史	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	☆
	哲	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
神道文化	神道文化	○	○	○	×	○	○	×	△	×	×	×	☆
法	法律専攻	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
	法律専門職専攻	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
	政治専攻	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
経済	経済	○	○	○	×	×	○	×	△	○	×	×	☆
	経営	○	○	○	×	×	○	×	△	○	×	×	☆
人間開発	初等教育	○	○	×	○	×	×	○	△	○	○	×	×
	健康体育	○	○	×	○	×	×	○	△	○	○	×	×
	子ども支援	○	○	×	○	×	×	○	△	○	○	×	×
観光 まちづくり	観光まちづくり	○	○	×	○	○	○	×	△	×	×	○	×

○：出願者全員が必ず提出する書類

△：任意提出の書類

☆：社会人の出願者が提出する書類

×：提出不要

<資料添付時の注意【様式3・4】>

様式3・4について、活動等に関する資料があれば、資料に番号・資料名をつけ、各様式の「添付資料目録」に資料名を記入してください。

添付資料の要・不要については、各学科のページまたは上表を確認してください。提出が必要（任意提出を含む）な学科は、添付資料がない場合も、添付資料目録の該当欄のみ記入してください。

資料は可能な限りA4サイズに統一し、サイズの違うものはA4サイズの用紙に貼付してください（提出された書類・資料は返却できません）。A4サイズの用紙に貼付できない資料を添付する場合には、資料番号を明記して同封してください。

<添付資料例>

創作や研究発表を掲載した雑誌・新聞の切り抜き、写真、活動の成果や記録のコピーなど。なお、必ずしも正式なものである必要はありません。

※活動内容が職業である場合には、できる限り在職・就業証明書（様式自由）を添付してください。

① 入学志願票 【本学所定用紙】	出願時に利用したWeb出願システムより印刷が可能です。 詳細は下記アドレスよりご確認ください。 https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/q5
② 各種証明書 ※原則、原本または原本証明がなされた書類で提出すること。	出願前3カ月以内に発行された書類を提出してください。
	高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者、および令和9年3月卒業見込みの者 出身（在籍）学校長が発行した「調査書」（学校所定用紙、開封無効） 既卒生の場合、卒業後に発行されたもので可（卒業見込で発行されたものは不可） 卒業後5年以上経過などの理由により、調査書が発行できない場合は「卒業証明書」を提出すること。
	高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定の合格者・合格見込みの者 「合格証明書」 （合格見込者は「合格見込成績証明書」）
	外国における12年の課程を修了した者または修了見込みの者 「修了（見込）証明書」と「成績証明書」 ※日本と外国両方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も合わせて提出してください。
	その他、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた場合 関係する証明書等を提出してください。 なお、必要な証明書については本学入学課（03-5466-0141）へお問い合わせください。
③ 資格・スコアを証明する書類【様式A】 （文学部外国語文化・史学科、神道文化学部、経済学部）	所定欄に必要な情報を記入し、出願資格を証明する書類を裏面に貼付してください。出願資格を証明する資格・スコアは、特に明記のない限り、令和6年4月1日以降に取得したものを有効とします。 複数枚提出するときは、様式をコピーし提出してください。 本学では、実用英語技能検定（英検）とTEAPにおいて日本英語検定協会が提供する成績ダウンロードシステムを利用します。
④ レポート 【様式1】	内容・文字数の指定は各学科の該当ページを参照してください。
⑤ 志望理由書 自己推薦書 【様式2】	「大学での勉学・研究に対する目的意識と意欲」または「継続的な努力をしている活動内容とそれを大学での学修にどのように役立てられるか」等を自己推薦文として主張してください。内容・文字数の指定は各学科の該当ページを参照してください。 表題は指示がない場合は付けてください。
⑥ 活動レポート・添付資料目録 【様式3】	学内外問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動を800字以内※で記入してください（活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にしてください）。 添付資料は5点までとし、添付時の注意事項についてはP.39を確認してください。 ※内容・文字数の指定は、各学科の該当ページを参照してください。
⑦ 活動報告書・添付資料目録 【様式4】 （人間開発学部）	これまでに自らが行ってきた活動等で活躍や努力したものについて、その内容を記入してください（活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にしてください）。資格取得や検定試験合格、あるいはスポーツなどで顕著な成績を有している場合には、添付資料目録に記載し、必ず証明書等のコピーを添付してください。 添付資料目録は、添付資料がない場合でも、「添付資料の有無」欄の「無」に丸を付けて提出してください。 添付時の注意事項については、P.39を確認してください。

（⑧～⑪はP.41参照）

⑧ エントリーシート 【様式5】	各学科のページを確認のうえ、所定の様式に従って記入してください。
⑨ 活動計画書 【様式6】 (人間開発学部)	学部・学科における勉学・研究に対する目的意識と意欲、将来の目標など、入学後の活動計画について、具体的に600字以内で記入してください。
⑩ 解決策提案シート (観光まちづくり学部)	詳細は、学科のページ(P.35～36)を参照してください。
⑪ 履歴書 【様式7】	履歴書は高等学校卒業以降、現在までの経歴を漏れなく詳細に記入してください。

英語検定試験のスコア・級数について

CEFRの基準値は、以下のスコアを参考値とします。特に明記のない限り、スコア・級は令和6年4月1日以降に取得したものを有効とします。

CEFR ※1	各検定のスコア								
	実用英語技能検定 (英検)※2	TOEIC® L&R およびS&W※3	GTEC※4	TEAP (R/L+W/S)※5	TEAP CBT※5	ケンブリッジ 英語検定※6	TOEFL iBT®※7		IELTS※7 (アカデミック・ モジュール)
							新形式スコア	旧形式スコア	
C2						230 200	6	120 114	9.0 8.5
C1	3299 2600 (3299) 各級CEFR 算出範囲 1級 (2599)	1390 1305	1400 1350	400 375	800	199 180	5	113 95	8.0 7.0
B2	2599 2300 (2299) 準1級 (2304)	1300 1095	1349 1180	374 309	795 600	179 160	4	94 72	6.5 5.5
B1	2299 1950 (1949) 2級 (1980)	1090 790	1179 930	308 225	595 420	159 140	3	71 42	5.0 4.0
A2	1949 1700 (1699) 準2級 (1728)	785 385	929 680	224 135	415 235	139 120			
A1	1699 1400 (1400) 3級 (1550)	380 200	679 260			119 100			

※1 各検定試験の証明書に記載される、4技能(Reading, Listening, Writing, Speaking)総合でのCEFRレベルを指します。4技能総合CEFRが判定されていない場合は、スコアの利用はできません。

※2 従来型・新方式(S-CBT, S-Interview)いずれも可。上表に示すCEFRレベルを満たしていれば、合否は問いません。ただし、取得したCSEスコアが受験級においてCEFR算出外となる場合は、スコアの利用はできません。

※3 TOEIC®はL&RおよびS&W両試験の受験およびスコアが必須となります。また、TOEIC IPは不可とします。

※4 GTECは受験年度により、同一のスコアでも証明書記載のCEFRレベルが異なる場合があります。GTECの成績を利用する場合は、証明書記載のCEFRレベルにかかわらず、4技能合計スコアに基づいて出願可否の判断および選考を行います。なお、オフィシャルスコアのみ利用可とし、検定版はCore,Basic,Advancedいずれも可とします。

※5 TEAPは異なる試験日のスコアを合算できません。

※6 ケンブリッジ英語検定4技能CBT(Linguaskill)は不可とします。

※7 自宅受験形式は不可とします。また、B1以上のスコアを持つ場合のみ出願可(神道文化学部を除く)とします。

スコアの利用に際しては、下表に示す成績表を必ず提出してください。下表にないもの（Web上での結果通知画面のスクリーンショット等）は成績の証明として認められません。

検定試験名	成績表
実用英語技能検定（英検）*1	合格証明書・デジタル証明書*2 CSEスコア証明書または個人成績表のいずれか
TOEIC® L&RおよびS&W	Official Score Certificate
GTEC（検定版またはCBT）	Official Score Certificate
TEAP(R/L+W/S) *1	成績表
TEAP CBT *1	成績表
ケンブリッジ英語検定	合格証明書
TOEFL iBT®	① My TOEFL Homeからダウンロード（印刷）したTest Taker Score Report ② データ直送依頼が完了したことが分かる画面を印刷したもの*3
IELTS（アカデミック・モジュール）	Test Report Form *4

<成績表の提出について>

*1は成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。そのほかの検定試験の証明書類は、原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

試験実施団体のシステムに登録されている志願者の生年月日に誤りがある場合、大学側で成績のダウンロードができず、受験が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。

生年月日の確認・訂正方法で不明な点がある場合は、試験実施団体（英検サービスセンター）に問い合わせてください。本学での対応はできません。

【生年月日の確認方法について】

「従来型英検」、「英検S-Interview」の成績を大学に提出予定の方は、「受験者用ログインサービス」から英検IDとパスワードでログインしていただき「個人情報の確認・変更」からご確認ください。

「英検 S-CBT」の成績を大学に提出予定の方は、個人成績表でご確認ください。

【生年月日の訂正方法について】

受験いただいた試験方式別に以下のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

※参考URL：<https://www.eiken.or.jp/eiken/nyushi/forstudents/faq.html>

*2はプレビュー画面をプリントアウトしたものの提出を受け付けます。

*3 TOEFL iBT®については、上記2点の書類を必ず提出してください。

1. TOEFLアカウント（My TOEFL Home）より、國學院大学のDIコード（G196）を選択し、スコアの直送手続きをしてください。

2. 出願期間までに本学にて確認できたもののみが有効となります。データ直送依頼は、早めに手配してください。なお、スコアが出願期間より前に到着した場合でも受理します。

*4 IELTS の Test Report Form について、テストセンターからの直送制度を利用する場合、送付先の機関名を Kokugakuin University、担当部署を Admissions Office とし、渋谷キャンパス宛に追跡番号付き郵便での送付を依頼してください。電子送信システムの利用は不可とします。

入試管理KEY一覧

学 部	学 科	専 攻	入試コード
文	日本文	－	D 1 1 A
	中国文	－	D 1 1 E
	外国語文化	－	D 1 1 F
	史	－	D 1 1 B
	哲	－	D 1 1 D
神道文化	神道文化	－	D 1 4 A
法	法律	法律	D 1 2 A
		法律専門職	D 1 2 B
		政治	D 1 2 C
経済	経済	－	D 1 3 A
	経営	－	D 1 3 C
人間開発	初等教育	－	D 1 5 A
	健康体育	－	D 1 5 B
	子ども支援	－	D 1 5 C
観光まちづくり	観光まちづくり	－	D 1 6 A

※文学部(日本文・哲学科)では社会人特別選考入学試験を実施します。

9. 入学検定料

入学検定料の振込について

入学検定料	35,000 円
-------	----------

※出願開始日よりお振り込みください。

お振込み方法の詳細は下記アドレスよりご確認ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/q5>



10. 学費等納付金

学費等納付金について（令和8年度参考）

（単位：円）

	文学部	経済学部	法学部	神道文化学部	人間開発学部	観光まちづくり学部
入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
授業料	830,000	830,000	830,000	830,000	850,000	850,000
施設設備費	210,000	210,000	210,000	210,000	250,000	250,000
維持運営費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
諸費	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
初年度合計	1,315,300	1,315,300	1,315,300	1,315,300	1,375,300	1,375,300

前期分（入学手続時）	795,300	795,300	795,300	795,300	825,300	825,300
後期分（入学後）	520,000	520,000	520,000	520,000	550,000	550,000

- 備考 1. 入学後、履修する授業によっては、別途費用がかかる場合があります。
 2. 後期分以降の学費等納付金の納付につきましては、口座振替となります。詳細については入学後にご案内します。
 3. 上記は令和8年度学費等納付金です。令和9年度学費等納付金については変更となる場合があります。

【入学手続完了後の辞退について】

入学手続を完了した後にやむを得ない事由により、入学を辞退する場合、令和9年3月31日（水）17：00までに所定の申請手続を終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細は『入学手続要項』に記載します。

【國學院大學教育充実資金（維持費）についてのお願い】

本学教学内容の維持・充実をはかるため、在学生の保証人（ご父母）各位に國學院大學教育充実資金（1口5万円）のご寄付をお願いしております。入学後の4月にご案内をいたしますので、ぜひ1口以上のご協力をお願い申し上げます。

※本学では入学前（3月まで）の募金活動は行っておりません。

11. 「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」等の法令に基づき、「國學院大學安全保障輸出管理に関する規程」を設け、技術の提供、貨物の輸出等の管理を徹底しています。このため、規制事項の対象となる学生については、希望する教育・研究内容の一部変更をお願いする場合がございます。

※上記詳細については、下記ウェブサイトをご参照ください。

〔経済産業省〕 <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/>

12. 「こども性暴力防止法」施行に伴う教育実習の制限について

「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が令和8（2026）年12月25日に施行されます。このことにともない、令和9（2027）年度入学者で、今後、教職課程を履修することを予定している方は、介護等体験や教育実習等の際にあらかじめ性犯罪事実確認を求められる場合があります。

※※性犯罪事実確認について※※

特定性犯罪（不同意わいせつ／児童買春／児童ポルノ所持／痴漢／盗撮／未成年淫行 等）※1と呼ばれる罪を犯し、以下の事項に該当していないか確認するものです。

- ・拘禁刑の執行が終わってから20年が経過していない者
- ・拘禁刑の執行猶予の判決が確定してから10年が経過していない者
- ・罰金刑の執行が終わってから10年が経過していない者

※1 成人に対する性犯罪を含む

※※事業者に求められる取組※※

1. 日頃から、こどもを性暴力から守る環境づくりを進めること。
2. こどもと接する業務に就く人に、性犯罪前科の有無を確認すること。
3. 性暴力のおそれがある場合は、こどもと接する業務に就かせないようにすること。

※※教育実習に関する留意点※※

- ・実習計画においてこどもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、性犯罪前科の有無の確認が必要かについて最終的な判断は実習先の事業者が行います。
- ・性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。
- ・性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習はできないこととなります。
- ・実習前に法の概要について理解した旨の同意書、性犯罪前科がない旨の誓約書の提出が求められます。
- ・性犯罪前科がある場合、実習を行うことができないため、免許・資格の取得ができなくなる可能性があります。

※※参考URL※※

こども家庭庁掲載サイト <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

13. 入学前学習講座

國學院大學では、総合型選抜・学校推薦型選抜入学試験による入学者を対象に、合格発表から入学までの期間で「入学前学習講座」を実施しております。

この講座では、早期に実施される総合型選抜・学校推薦型選抜入学試験から入学までの期間において、学修機会を設けることで、入学後の学修がスムーズなものとなるよう実施しております。受講される場合は受講料を別途ご納入いただくこととはなりますが、本講座の趣旨をご理解いただき、積極的な受講をいただくようお願い申し上げます。

なお、申し込み方法等の詳細については、合格発表時にご案内いたします。

1. 実施期間：令和8年12月～令和9年3月
2. 内容：全学部共通講座・各学科指定課題（予定）

14. 合格者対象オンラインイベントについて

國學院大學では、総合型選抜入学試験合格者を対象に「オンラインイベント」を実施いたします。下記の実施内容をご確認のうえ、参加いただきますようお願い申し上げます。

1. 実施日時：令和8年11月下旬（予定）
2. 参加方法：大学ホームページにて事前申込制（11月上旬頃より受付開始予定）

最新情報はこちらをご確認ください。



15. Q&A（よくある質問）

■出願について

Q. 出願はオンラインですか？郵送ですか？

A. 公募制自己推薦（AO型）は、パソコンまたはスマートフォンからインターネットを通じてWeb 出願登録を行います。インターネットでのWeb 出願システムによる出願登録だけでは出願完了となりません。必ず、支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類を提出期限日までに郵便局窓口から速達・簡易書留郵便にて送付してください。

Q. 出願書類の郵送は締切日必着ですか？消印有効ですか？

A. 締切日消印有効です。

Q. 他大学との併願はできますか？

A. 併願可能です。

Q. 公募制自己推薦（AO型）で2つ以上の学部・学科・専攻に出願できますか？

A. 公募制自己推薦（AO型）では、すべての学部・学科（専攻）で併願が可能です。ただし、書類選考を除くすべての選考において、同一試験日での複数学科・専攻の受験はできません。

Q. 学習成績の状況（旧.評定平均値）の基準はありますか？

A. 公募制自己推薦（AO型）は、出願時の基準はありません。

Q. 入学までに身につけるべき教科・科目を履修していないと出願できませんか？

A. 特定の教科・科目を履修していなくても出願は可能ですが、アドミッション・ポリシーに掲載している科目の高校卒業程度の学力を持っていることが望ましいです。

Q. 高等学校卒業程度認定試験に合格している場合、調査書の提出は不要ですか？

A. 高卒認定を取得されている方は調査書の提出は不要です。

Q. 神道文化学部に出願したいのですが、英語検定試験のスコアは何点以上必要ですか。

A. CEFRレベルに対照可能なスコアであれば、スコアの数値は問いません。ただしCEFR算出外のスコアは利用できません。

■Web出願システムについて

Q. Web出願登録完了後に、登録内容に誤りがあることに気づきました。どうすればよいですか？

A. 入学検定料納入後は、ご自身で登録内容を変更することはできません。プリントアウトした入学志願票に正しい内容を赤のボールペン（消せるものは不可）で修正の上、送付してください。ただし、出願した学部・学科・専攻の変更はできません。

Q. 証明写真は制服ではなく私服の方がよいですか？

A. 証明写真について、制服・私服等の指定はありません。

Q. スマートフォンで撮影したデジタル写真は使用できますか？

A. 本人照合に支障がない写真であれば使用可能です。

■英語資格・スコア証明について

Q. 英検の成績証明書と合格証書は両方提出すべきですか？

A. 合格証明書・デジタル証明書・CSEスコア証明書または個人成績表のいずれか1つで構いません。

Q. 実用英語技能検定について、受験した「級」に合格していなくても出願に利用できますか？

A. 出願資格に定めるCEFR レベルを満たしていれば、各級の可否に関わらず利用できます。

Q. 実用英語技能検定の合格証明書はデジタル形式でも提出可能ですか？

A. デジタル証明書はプレビュー画面をプリントアウトしたものの提出を受け付けます。

1枚に収まらない場合は、複数枚に分かれても構いません。

英検受験年度と受験回、個人番号、氏名、4技能総合CEFRの項目が記載されるよう印刷してください。

■出願書類について

Q. 志願票や提出書類の印刷形式を教えてください。

A. 特に明記がない限りはA4サイズ、普通紙、片面で印刷してください。

Q. レポートなど提出書類の改行や空白も文字数に含まれますか？

A. 改行や空白は文字数に含めません。なお、指定様式の枠外に記載されている文字数は、あくまで目安としてご利用ください。

Q. 修正液・修正テープは使用してよいですか？

A. 入学志願票以外は修正液・修正テープを使用しても問題ありません。

Q. 出願書類のコピーを取り忘れた場合は返却してもらえますか？

A. 一度提出された出願書類は返却できません。出願前にコピーを取るようになしてください。

■受験票について

Q. 受験票はいつどのような形で発行されますか？

A. 受験票はWeb出願システムのマイページより各自で印刷してください。

受験票は10月13日（火）10：00に公開予定です。当該日を過ぎても受験票の確認ができない場合は、入学課（03-5466-0141）までご連絡ください。（p.12参照）

Q. 受験票の記載内容が間違っているのですが、どうしたらいいですか？

A. 登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、速やかに入学課（03-5466-0141）までご連絡ください。

■試験当日について

Q. 入学試験要項は試験当日にすべて印刷して持参する必要がありますか？

A. ご自身が受験される入試の入学試験要項をすべて印刷してご持参ください。

Q. 法学部の面接試験でPCやタブレットを使用する場合、電源は使用できますか？

A. 大学の電源や投影用プロジェクター・スクリーン等の使用はできません。

Q. 面接試験は、個別面接、グループ面接のどちらですか？

A. 入学試験要項に記載の場合を除き、面接試験の内容はお答えできません。

Q. 帰りの新幹線（飛行機等）の予約を取りたいので、面接が終わる時間を教えてもらえますか？

A. 面接の終了時間は受験者数や面接順によって異なるため、お答えできません。帰りの新幹線（飛行機等）は、余裕を持った時間で予約するようにしてください。

■合格発表について

Q. 合格発表はどこから確認できますか？

A. 第1次合格発表・最終合格発表ともに、Web出願システムのマイページ内「合否結果」にて合格発表日の12：00に公開されます。（p.13参照）

■その他

Q. 過去問題はどこから手に入れることができますか？

A. 直近2年分の過去問題を大学ホームページに掲載しております。それより古いものは公開しておらず、大学窓口での閲覧・配布等も行いませんのでご了承ください。

■入試制度・個別の入学資格審査に関する問い合わせ
問い合わせ先 國學院大學入学課
電話番号03-5466-0141（10：00～16：00）

■Web出願の操作に関する問い合わせ
問い合わせ先 志願受付操作サポート窓口
電話番号0120-752-257（9：00～20：00）

※お問い合わせの内容によっては、氏名・生年月日等の本人確認を行う場合があります。

資格・スコアを証明する書類

※裏面に証明書を貼付（糊付け）してください。

入試コード	D	1			<大学使用欄>
学部					
学科					
氏名					
生年月日	年 月 日				
利用する 検定試験	該当するものに○を付けてください。 【英語検定試験】※2 ☐ 実用英語技能検定（英検） ☐ TOEIC®L&R および S&W ☐ GTEC(検定版またはCBT) ☐ TEAP（R/L+W/S） ☒ TEAP CBT ☐ ケンブリッジ英語検定 ☐ TOEFL iBT®※1 ☐ IELTS （アカデミック・モジュール） （Test Taker Score Report） 【その他の検定試験】 試験名称（ ） 試験名称（ ）				
受験年度			受験回		
個人番号 または受験番号					

↑ 太枠内は、実用英語技能検定試験および TEAP 利用者のみ記入してください。

【提出する証明書について】

実用英語技能検定試験およびTEAP利用者：

成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。

※1 TOEFL iBT® の利用者：

TOEFL iBT® については、下記 2 点の書類を必ず提出してください。

1. MyTOEFLHome からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷して提出してください。
2. TOEFL アカウント (My TOEFL Home) より、國學院大學の DI コード (G196) を選択し、スコアの直送手続きが完了したことがわかる画面を印刷して提出してください。

この 2 点がそろっていない場合、受け付けることができません。

その他の検定試験利用者：

原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

原本証明がなされたコピーの作成手順は以下の通りです。

- i. 在籍学校が証明書の原本であることを確認し、コピーをとる（カラー・白黒は問いません）。
- ii. 証明書のコピーの余白に、「原本と相違ないことを証明する」旨の文言を記載の上、在籍学校の印または学校長の印を押印する。
- iii. 在籍学校が厳封（調査書と同封可）する。

※2 【A0】この用紙は、文学部外国語文化・史学科、神道文化学部、経済学部志願者のみ提出してください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

レポ ー ト				入 試 コード	D	1		
学 部		フリガナ						
学 科		氏 名						
表 題 (題目・書名・ キーワードなど)								

(注意) 字数は出願先(学部・学科)の該当ページで必ず確認してください。

[illegible]

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

▲600

▲800

▲1000

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

1200▲

1400▲

1600▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

志 望 理 由 書 自 己 推 薦 書			入 試 コード	D	1		
学 部		フリガナ					
学 科		氏 名					
表 題							

(注意) 字数は出願先(学部・学科)の該当ページで必ず確認してください。

200▲

400▲

500▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

▲600

▲800

▲1000

▲1200

活動レポート			入試 コード	D	1		
学 部		フリガナ 氏 名					
学 科							

〔記入にあたっての注意事項〕

- ※学校内外問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動について、記入してください。
 ※資格・検定等の証明書類などの添付資料は不要とします（別途指示のある場合を除く）。
 ※字数・内容については、出願先（学部・学科）の該当ページで必ず確認してください。

主体的に取り組んだ活動について

例：課題研究、探究活動、部活動、学校行事、生徒会・委員会、ボランティア活動、各種コンクール、習い事、留学・海外経験、資格・検定取得に向けた活動、その他学びの経験、等

タイトル
※20字程度

100▲

200▲

300▲

400▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

[illegible]

添付資料目録	添付資料の有無	有・無
1. 申請書	有	有
2. 事業計画書	有	有
3. 収支予算表	有	有
4. 事業報告書	有	有
5. 決算報告書	有	有
6. 事業評価書	有	有
7. その他	有	有

添付資料 番号	資料名
1	
2	
3	
4	
5	

※添付資料がない場合は、「添付資料の有無」欄の無に丸を付けてください。

活 動 報 告 書			入 試 コード	D	1	5	
学 部	人間開発学部	フリガナ					
学 科		氏 名					

活動内容を具体的に記入してください（箇条書き可）。

添付資料目録			入試 コード	D	1	5
学 部	人間開発学部	フリガナ 氏 名	添付資料の 有無		有 ・ 無	
学 科						

添付資料 番号	資料名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

※添付資料が10点を超える場合はこの【様式4－2】をコピーして使用してください。

※添付資料がない場合も、「添付資料の有無」欄の無に丸を付け、必ず提出してください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

エントリーシート				入試 コード	D	1	2
法学部	法律専攻		フリガナ				
	法律専門職専攻		氏 名				
	政治専攻						

↑ 志願する専攻に○を付けてください。

志 願 理 由 に つ い て	あなたが國學院大學法学部法律学科法律専攻、法律専門職専攻または政治専攻を志願する理由を書いてください。 *その際には、以下の3点を含ませてください。 ・あなたが法学や政治学を学ぶ目的（法律専門職専攻の志願者については、将来就くことを目指す職業についても必ず書いてください） ・國學院大學法学部のあなたの志願した専攻があなたに適していると思った理由 ・あなたが志願した専攻の授業にどのように取り組んでいこうと考えているか
--------------------------------------	---

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

あ な た 自 身 の こ と に つ い て	あなた自身について、積極的に評価してほしいことを書いてください。 ＊これまで取り組んできた活動などの「具体的事実」、あなたや他人が捉えている「あなたの性格」などが一つのストーリーとして結びつけられている記述に挑戦してください。
社 会 へ の 関 心	あなたが現在、最も関心を持っている社会的出来事を一点挙げ、それに関してどのようなことを調べ、現在どのような考えを持っているか、書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

エントリーシート				入試 コード	D	1	3
経済学部	経済学科		フリガナ				
	経営学科		氏 名				

↑ 志願する学科に○を付けてください。

(1) 高校の授業の中で印象に残ったことについて書いてください。

(2) (1)以外に高校生活で身につけたアピールできること(資格・特技など)について書いてください。

(3) 本学を知ったきっかけを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

(4) 経済学部および選んだ学科を志望した理由を書いてください。

(5) 大学生活における目標と卒業後の進路について書いてください。

(6) (4)(5)を踏まえて残りの高校生活で何をすべきか考えたことを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

- (7) 経済・経営に関して、あなたの関心のあるトピックを自分の見解を含めて、800字程度で記述してください。
なお、参考文献、参考URLを1つ以上載せること。

200▲

400▲

600▲

▲800																				
▲1000																				

注 (参考文献)	この欄は、志望学科のページを確認し、必要に応じて記入すること。
-------------	---------------------------------

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

エントリーシート(社会人用)				入試 コード	D	1	3
経済学部	経済学科		フリガナ				
	経営学科		氏 名				

↑ 志願する学科に○を付けてください。

(1) 高校卒業後の諸活動において特に努力したといえることについて書いてください。

(2) 高校卒業後の諸活動において印象に残ったことについて書いてください。
((1)と連動してもしなくても可)

(3) (1) (2) 以外に身につけたアピールできること(資格・特技など)について書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

(4) 本学を知ったきっかけを書いてください。

(5) 経済学部および選んだ学科を志望した理由を書いてください。

(6) 大学生活における目標と卒業後の進路について書いてください。

(7) (5)(6)を踏まえて入学までに何をすべきか考えたことを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

- (8) 経済・経営に関して、あなたの関心のあるトピックを自分の見解を含めて、800字程度で記述してください。
なお、参考文献、参考URLを1つ以上載せること。

200▲

400▲

600▲

▲800

▲1000

注
(参考文献)

この欄は、志望学科のページを確認し、必要に応じて記入すること。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

エントリーシート				入試 コード	D	1	5
人間開発学部	初等教育学科		フリガナ				
	健康体育学科		氏 名				
	子ども支援学科						

↑ 志願する学科に○を付けてください。

あ な た の こ と	本学部・学科を志望した理由
	自分について最も評価してほしいところ（他人に誇れる性格、特技、経験など）
	最近気になっている社会問題とその理由

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

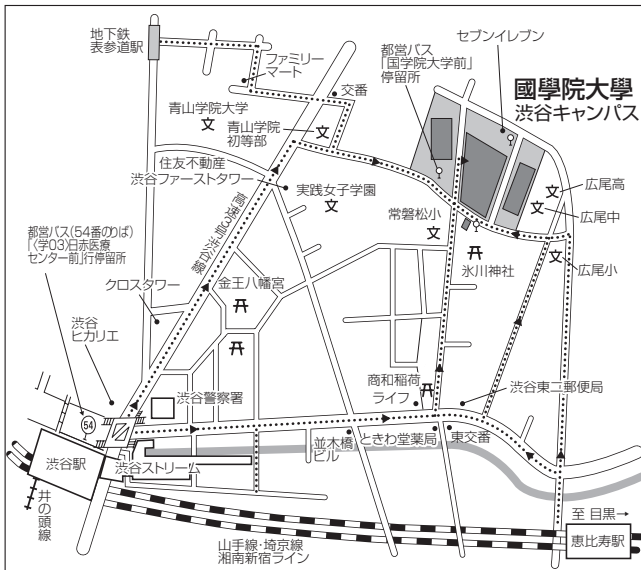
あなたのこと	継続的に取り組んできたと自信をもって言える活動とその期間
あなたが考えること	「個性的」とはどういうことか
	社会に「人間開発」が必要であると思う理由

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

履 歴 書				入 試 コード	D	1		
学 部		フリガナ		生 年 月 日 (西暦)				
学 科		氏 名		年 月 日生 (満 歳)				

年	月	学歴・職歴など（項目別に記入すること）

渋谷キャンパス 〈文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・専攻科・別科のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒150-8440

東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター
前」行き「国学院大学前」下車

横浜たまプラーザキャンパス 〈人間開発学部・観光まちづくり学部のメインキャンパス〉

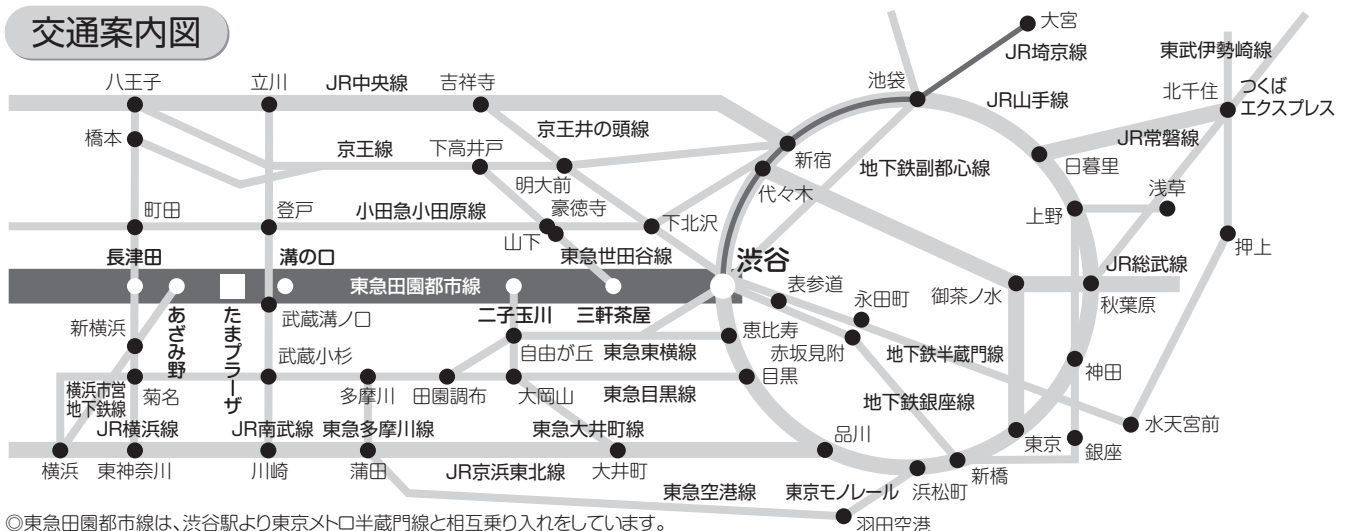


＜所在地＞〒225-0003

神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線（長津田・中央林間方面行き）にて約25分
（東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ）
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしています。

※本ページに記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。

